

第3編

Regional plan

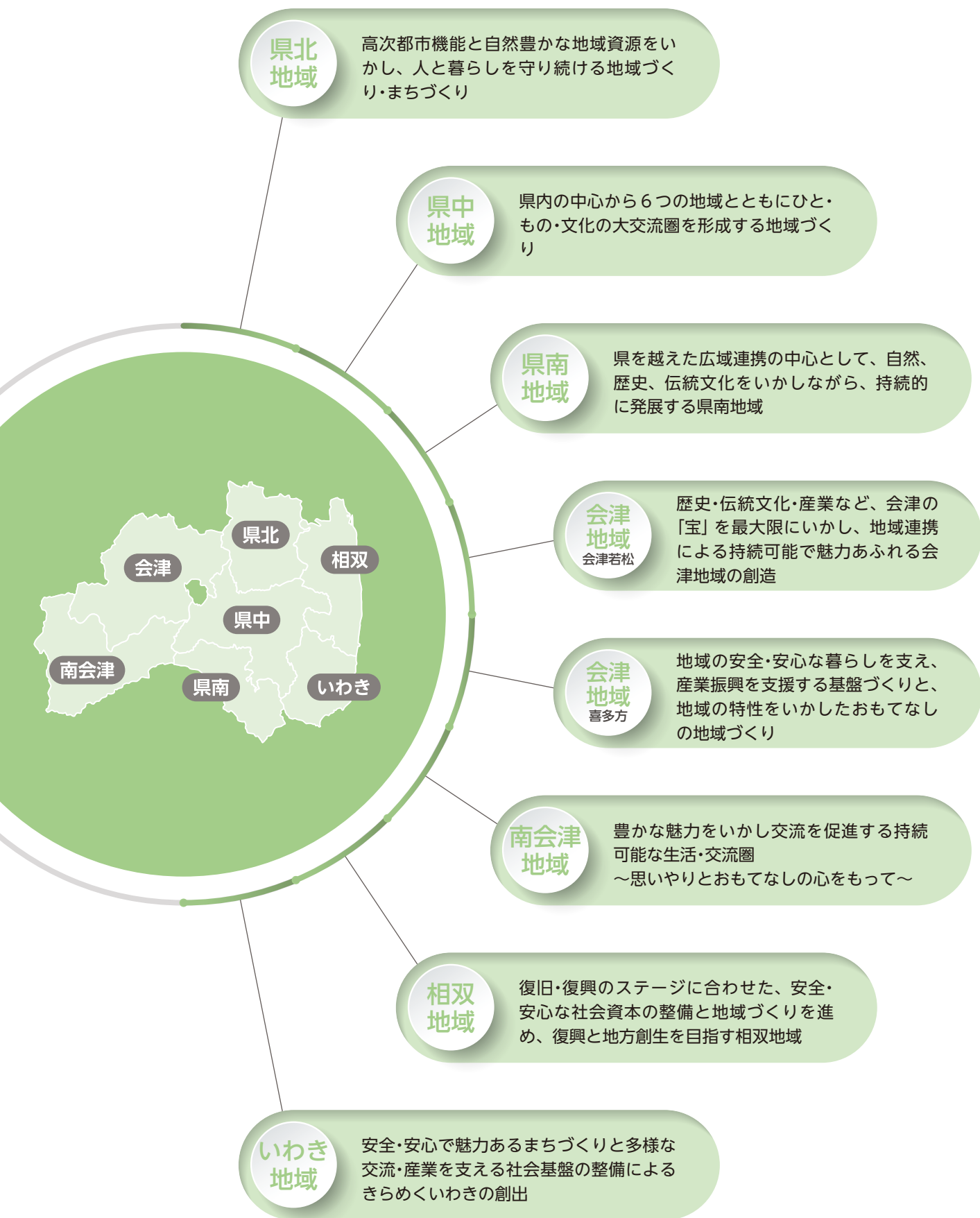
地域別 計画



福島県土木・建築総合計画
安全・安心、豊かさを次代につなぐ
県土づくりプラン

地域別計画

地域別計画は、基本計画に基づき、地域ごとの特性や課題に対して今後の方向性を定めたものです。





第3編

県北地域

県北 地域

高次都市機能と自然豊かな地域資源をいかし、 人と暮らしを守り続ける地域づくり・まちづくり

地域の特性

- 県北地域は、中心地域を南北に縦貫して阿武隈川が流れ、その流域に信達平野（福島盆地）が広がっています。その西側には吾妻・安達太良連峰が連なる奥羽山脈、東側にはなだらかな阿武隈高地が続いています。
- 東北自動車道、東北中央自動車道の高速交通体系が構築されており、隣接する宮城県、山形県と文化や観光などにおいて活発な交流が行われています。
- 県庁所在地である福島市を中心に、行政、教育・文化、医療などの高次都市機能が集積しており、本県の政治・経済・文化の中心を担っています。
- 西部地域には、豊かな自然を味わえる山々・温泉群等を結ぶ『いで湯回廊』、東部地域には、地域住民が育て守る『桜回廊』、北部地域とフルーツライン沿いには、全国有数の果樹地帯があり、四季折々に周遊ができるなど観光資源が豊かな地域となっています。

現状と課題

- 県北地域は、阿武隈川の流れる方向が台風の進路と重なりやすく、また、東西から流れる支川は急勾配のため、洪水の発生しやすい地形となっています。さらに、火山活動による火山砕屑物や風化した花崗岩からなる地盤は、地震などの災害に弱く、土砂災害の危険性が高いことから、自然災害に強い地域づくりとともに、豊かな自然環境の保全が必要です。
- 阿武隈地域の人口減少や中心市街地の空洞化が進む中、高次都市機能と『いで湯回廊』や『桜回廊』等の自然豊かな地域資源を結ぶことで、新たな活力を生み出し、豊かに暮らし続けることができる地域づくりが必要です。
- 全線開通した東北中央自動車道など東西南北を結ぶ充実した高速道路や鉄道等の高速交通体系をいかし、県内外との広域交流の促進や浜通りの復興を支援するとともに、特色ある県北地域内の連携を促進する地域づくりが必要です。

基本方針と取組

基本方針Ⅰ 自然災害に強く、暮らしを守り続ける地域づくりを進めます。

- 取組1 令和元年東日本台風を踏まえたソフトとハードが一体となった治水対策を実施します。
- 取組2 自然災害に強い道路づくりときめ細かな除雪作業により、一年を通して安定的な道路利用を確保します。
- 取組3 長寿命化計画に基づく効率的な補修と最新技術を活用した日常管理により、県管理施設の安定的な機能を確保します。

基本方針Ⅱ 住む人が豊かに暮らせる地域づくり・まちづくりを進めます。

- 取組4 県北地域の自然環境と文化を守り育て、豊かに暮らし続けるための地域づくりを進めます。
- 取組5 県北地域の地域資源をいかした交流とにぎわいづくりを支えるまちづくりを進めます。
- 取組6 県営住宅の設備改修や住戸内のバリアフリー化と、空き家活用によるにぎわいを持続する地域づくりを進めます。
- 取組7 県北地域の生活環境と阿武隈川の水質を保全するため、下水道施設の計画的な改築更新及び災害に強い下水道施設の整備を行います。
- 取組8 地域の守り手である建設業が持続可能な産業として発展するための職場環境整備の支援と建設業の魅力を伝える広報活動を行います。

基本方針Ⅲ 高次都市機能と地域資源を結び、人が行き交い日常を支える地域づくりを進めます。

- 取組9 高速交通体系をいかした県内外の広域交流を促進する道路を整備します。
- 取組10 通勤・通学、観光地や医療機関へのアクセスなど日常生活を支え、地方創生に資する道路を整備します。



佐久間川河川改修（桑折町）



都市計画道路腰浜町町庭坂線（福島市）



【主な継続事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地	着手年度	完成目標時期		
							前期	中期	後期
1	1	1	1	河川整備 東根川	伊達市	S49 (1974)			●
2	4	2	5	街路事業 腰浜町町庭坂線 (野田町)	福島市	H27 (2015)			●
3	6	1	9	道路整備 上名倉飯坂伊達線 (大笹生2)	福島市	H26 (2014)			●
4	3	4	10	交通安全対策 安達停車場線 (谷地)	二本松市	R3 (2021)		●	
5	3	4	10	道路整備 保原伊達崎桑折線 (上郡)	桑折町	R3 (2021)			●

【令和12年度までに着手予定の主な事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地
1	2	1	1	砂防施設 平内沢	福島市
2	6	1	9	道路整備 国道399号 (飯坂東バイパス)	福島市

完成目標時期
 前期 (～R6)
 中期 (～R9)
 後期 (～R12)

※事業箇所は、地域課題に対する主な対応箇所です。

具体的な取組

取組1 令和元年東日本台風の災害を踏まえた治水対策の加速化

令和元年東日本台風による災害を踏まえ、気候変動による更なる降雨量増加も考慮しながら、洪水氾濫を防ぐため、河道掘削や伐木の対策を実施するとともに、要改修区間等の河川整備と阿武隈川の背水影響区間の堤防かさ上げや堤防強化等を実施します。

また、土石流や土砂・洪水氾濫から地域住民の命と財産を守るため、砂防えん堤の整備や土砂・洪水氾濫対策を実施します。

【ハード対策】

- 伝樋川（伊達市）、東根川（伊達市）、小浜川（二本松市） など
- 塩野川（伊達市）、滝川（国見町）、佐久間川（桑折町）、濁川（福島市）、安達太良川（本宮市）〔背水影響区間〕
- 高根川（川俣町）〔土砂・洪水氾濫対策〕 など

【ソフト対策】

水害や土砂災害に対して、迅速な避難を促し地域住民が命を守る行動ができるよう、浸水想定区域図の作成、水位計や監視カメラ設置などによる分かりやすい情報発信の強化などを市町村と連携して進めます。

また、防災出前講座を行い、地域防災力の向上を支援します。

※背水とは、阿武隈川本川の水位が支川に影響を及ぼす現象



安達太良川河川改修（本宮市）

取組2 自然災害に強い道づくりと安定的な道路利用の確保

いかなる大規模自然災害が発生しようとも、速やかに復旧・復興できるしなやかさを備えた強靱な道路をつくります。

また、きめ細かな除雪や凍結防止対策を行い、一年を通して安定的な道路利用を確保します。

【主な事業箇所】

- 緊急輸送路等の落石対策（災害防除）
- 橋梁耐震補強
- 道路の無電柱化



国道115号（福島市）

取組3 県管理施設の安定的な機能を確保する維持管理

社会資本を長期にわたり安定して使用するため、各施設の長寿命化計画に基づき、柔軟かつ効率的な補修を行います。

ICTやドローンなどの最新技術を活用した日常管理による迅速な補修を行うとともに、住民からの要望にも迅速に対応します。

また、厳しい自然環境の中、開通から60年が経過した磐梯吾妻スカイラインについては、総合的な点検を実施し、大規模改修を検討します。

さらに、あづま総合運動公園では、人々の心身のリフレッシュや健康づくりのために、いつでも楽しく利用できる環境づくりを行います。



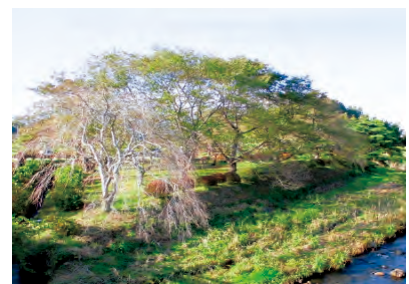
国道115号方木田跨線橋（福島市）

取組4 豊かに暮らし続けるための地域づくり

地域社会において豊かに暮らし続けることができるよう県北地域の恵まれた自然環境と文化を後世に引き継ぐために、様々な世代が連携できる地域づくりを地域住民とともに進めます。また、道路や河川など地域の身近な環境を守るため、美化活動への支援を行うとともに、住民が参加しやすい情報発信を行います。

【主な事業箇所】

- 阿武隈地域におけるサイクリングを活用した地域づくり
- 自然環境と文化を守り育てる地域づくり
- 地域貢献活動の支援
- 下水汚泥のリサイクル など



さくら公園（大玉村）

具体的な取組

取組5 交流とにぎわいづくりを支えるまちづくり

地域の文化や歴史、観光資源など地域特性をいかし、市町村のまちづくり計画と整合を図るとともに、地域住民や企業・学校等とも連携を図りながら、交流とにぎわいづくりを支えるまちづくりを進めます。

【主な事業箇所】

- 都市計画道路 栄町大笹生線、腰浜町町庭坂線（福島市）
- 都市計画道路 中央線（伊達市） など



都市計画道路 栄町大笹生線（福島市）

取組6 快適で安全な居住空間の確保と空き家活用による地域活性化

快適で安全な居住環境を確保するため、県営住宅における浴室等水廻りの改修や住戸内のバリアフリー化などを進めます（蓬莱団地、花見山団地）。

民間住宅については、木造住宅の耐震診断・耐震改修に対する市町村の補助事業を支援します。

県外からの移住促進や子育て世代の居住の安定確保のため、市町村の空き家バンクとも連携しながら、空き家活用に対する支援を行うことで、県北地域のにぎわいを持続する地域づくりを進めます。



県営荒井団地（福島市）

取組7 下水道施設の計画的な改築更新と災害に強い施設整備

人口が集中し産業が集積する県北地域の生活環境と阿武隈川の水質を保全するため、阿武隈川上流域下水道「県北処理区」「二本松処理区」の持続的な事業運営に資する、下水道施設の計画的な改築更新及び施設の耐水化を行います。



県北浄化センター（国見町）

取組8 建設産業発展のための職場環境整備と担い手確保の支援

災害から住民の命を守り、復興を支えてきた建設業が今後もその役割を果たし、持続可能な発展をしていくために、情報通信技術の活用による建設現場の生産性向上と業務の効率化を進めるとともに、将来の建設産業を支える担い手確保につながる広報活動などを行います。

取組9 高速交通体系をいかした広域交流を促進する道路の整備

県北地域の自然豊かな地域資源を結び県内外の広域交流を促進するため、高速道路へのアクセス道路や県境道路、隣接管内との連携を強化する道路を整備します。

また、引き続き浜通りの復興を支援する道路を整備します。

【主な事業箇所】

- 上名倉飯坂伊達線 大笹生2工区（福島市）
- 国道399号 飯坂東バイパス（福島市） など



上名倉飯坂伊達線 大笹生2工区現道状況（福島市）

取組10 日常生活を支え、地方創生に資する道路の整備

通勤・通学、福祉施設、観光地や医療機関へのアクセスなど、生活を支え、地方創生や地域連携に資する道路を整備します。

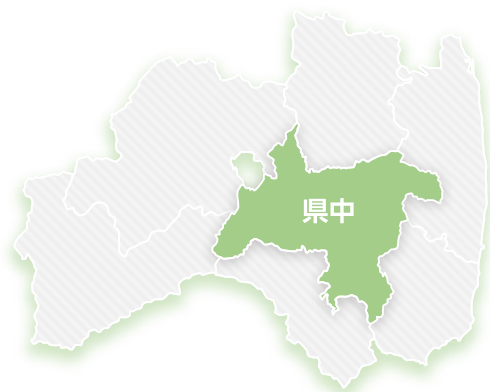
また、事故や渋滞が発生する交差点や通学路の歩道について、ユニバーサルデザインを取り入れた整備により、安全で円滑な通行を確保します。

【主な事業箇所】

- 保原伊達崎桑折線 上郡工区（桑折町）
- 霊山松川線 上小国工区（伊達市）
- 安達停車場線 谷地工区（二本松市） など



福島吾妻裏磐梯線（福島市）



第3編

県中地域

県中 地域

県内の中心から6つの地域とともに ひと・もの・文化の大交流圏を形成する地域づくり

地域の特徴

- 県中地域は、地域の中心を阿武隈川が南北に縦貫し、流域に広がる安積平野に教育・文化・医療・試験研究機関等の高次都市機能が集積しています。
- 県中地域は福島県の中央部に位置し、6つの地域全てに接しています。県人口の四分の一以上を占め、本県経済の中心的な役割を担う地域でもあります。
- 新幹線などの鉄道網、高速道路などの道路網により、東北地方はもとより、首都圏、北陸地方を結ぶ交通の要衝となっているほか、本県の空の玄関口である福島空港は、国内・海外との交流拡大が期待されます。
- 5市7町4村で構成する「こおりやま広域圏」により連携中枢都市圏を進めています。

現状と課題

- 頻発化・激甚化している災害に対して、災害に強い道路ネットワークの構築や河川改修、河川の計画的な維持管理による防災・減災対策、生活幹線道路等における幅員狭小・線形不良の解消など、地域の安全・安心の確保が求められています。
- 高速交通体系や地理的優位性をいかした更なる産業の集積や広域交流の強化が求められています。
- 過疎・中山間地域や空洞化している中心市街地の活性化、地域間の連携・交流の促進が求められています。

基本方針と取組

基本方針Ⅰ 県中地域の暮らしを守り安全・安心を確保します。

- 取組1 中通りと会津地方及び浜通りをつなぐ地域連携道路などの整備を推進し、災害に強い道路ネットワークの構築を図ります。
- 取組2 安全・安心を確保するため、河川改修や河道掘削、及びインフラの長寿命化対策等を計画的に実施し、国土の強靱化を推進します。
- 取組3 使いやすい道づくりを進め、誰もが安全で安心できる地域を目指します。
- 取組4 生態系に配慮した河川整備や水質を保全する下水道などの整備を進め、豊かな自然環境との共生を図ります。
- 取組5 建設業の担い手確保に向けて、建設業の魅力や重要性を発信する取組を推進します。



令和元年東日本台風被害状況



河川の堆砂除去状況

基本方針Ⅱ 観光や物流の交流促進と産業を支えるため、拠点間のアクセス道路の整備や空港の安全性を向上させる対策を進めます。

- 取組6 工業団地や物流拠点などを結ぶ道路整備を進め、産業の維持・発展と企業誘致を支援します。
- 取組7 広域観光及び物流を支援するため、拠点間のアクセス道路の整備や新基準に適合した滑走路端安全区域（RESA）の拡張を推進します。



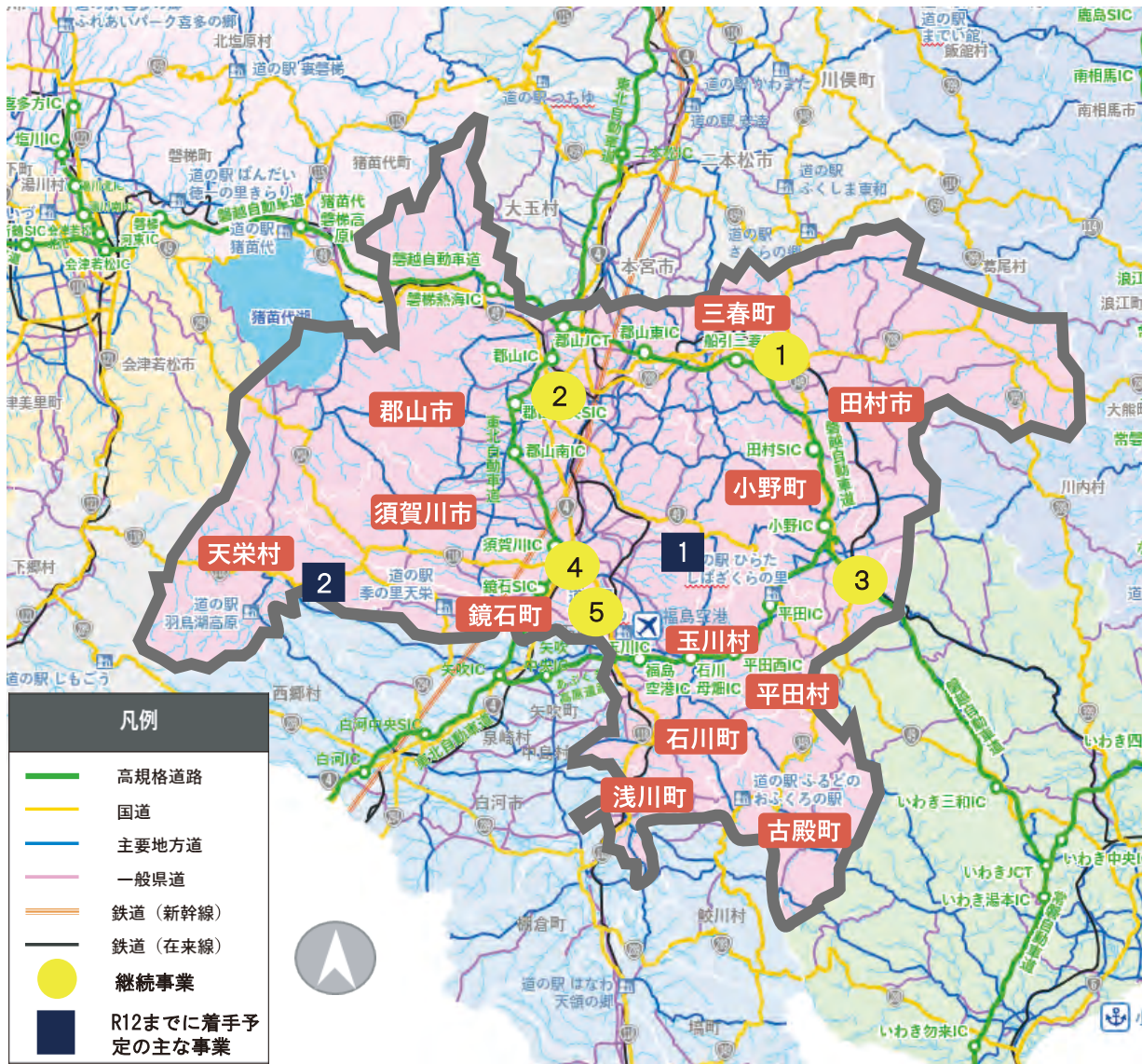
歩道整備状況

基本方針Ⅲ 過疎・中山間地域や空洞化する中心市街地の活性化のため、地域の魅力を高める地域づくりを支援します。

- 取組8 中心市街地におけるユニバーサルデザインに配慮した道路整備を推進します。
- 取組9 地域団体・住民、市町村と協働で持続可能な地域づくりを進めます。



地域づくりの支援



【主な継続事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地	着手年度	完成目標時期		
							前期	中期	後期
1	6	1	1	道路整備 国道288号(船引バイパス)	田村市	H8(1996)		●	
2	2	1	2	河川整備 逢瀬川	郡山市	S61(1986)		●	
3	2	1	2	河川整備 右支夏井川	小野町	H11(1999)		●	
4	4	2	8	街路事業 須賀川駅並木町線南町工区	須賀川市	H28(2016)		●	
5	4	2	9	地域づくり 玉川村乙字ヶ滝地区	玉川村	H31(2019)		●	

【令和12年度までに着手予定の主な事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地
1	2	1	2	砂防施設 桐久保沢	須賀川市
2	6	1	7	道路整備 国道118号(牧之内)	天栄村

完成目標時期
 前期 (～R6)
 中期 (～R9)
 後期 (～R12)

※事業箇所は、地域課題に対する主な対応箇所です。

具体的な取組

取組1 災害に強い道路ネットワークの構築

中通りと会津地方及び浜通りの連携強化と災害発生時のネットワークの構築のため、第2期福島県復興計画の安全・安心な暮らしのプロジェクトに位置付けられた路線の整備を進めます。

【主な事業箇所】

- 国道288号船引バイパス (田村市)
- いわき石川線石川バイパス (石川町) など



国道288号 田村市船引町内の現道状況

取組2 県中地域の国土強靱化と維持管理

令和元年東日本台風に伴う豪雨では、堤防の決壊、越水等により大きな浸水被害を受けました。

浸水被害から生命・財産を守るため、河道掘削や伐木の実施、河川改修や堤防強化などのハード対策を進めるとともに、危機管理型水位計や河川監視カメラの設置拡大、洪水浸水想定区域の見直し及び公表河川の追加などのソフト対策を進めます。

また、インフラの長寿化対策として、施設の長寿

命化計画に基づき、計画的な修繕を実施します。

さらに、地域の方々の憩いの場となっている逢瀬公園や福島空港公園の更なる利活用を図るため、各種イベントの開催や、計画的な維持管理に努めます。

【主な事業箇所】

- 福島県緊急水災害対策プロジェクト
逢瀬川・谷田川・右支夏井川・北須川・釈迦堂川・社川 など



阿武隈川と谷田川の浸水状況
(令和元年東日本台風)



谷田川(郡山市) 河道掘削状況

取組3 使いやすい道づくり

拠点間のアクセス道路や日常生活及び地域間交流を支える生活幹線道路の使いやすさの向上を図ります。

通勤や通学など日常生活における安全性を高めるため、幅員狭小や線形不良を解消し、歩道を設置することで、使いやすく安全な道路の整備を進めます。

【主な事業箇所】

- 国道294号 沢邸工区 (天栄村)
- 芦ノ口大槻線 桜木工区 (郡山市) など



国道294号 天栄村大里地内(沢邸工区)の現道状況

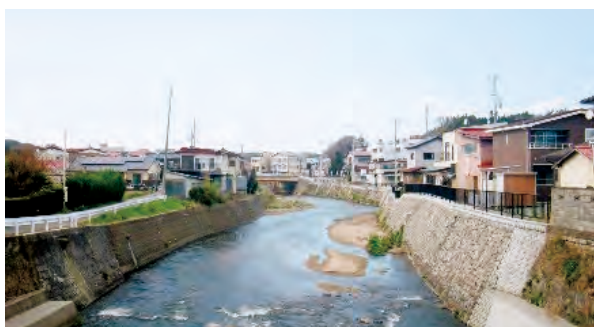
具体的な取組

取組4 自然環境との共生

流下能力が低い狭窄箇所の河川改修を実施し、地域の安全性の向上を図ります。

また、周辺と調和のとれた川づくりを進めるとともに、潤いと安らぎのある水辺空間を創出し、さらには生態系に配慮した河川整備を進めます。

循環型社会形成に貢献する下水汚泥の有効利用をより一層推進します。



大滝根川 田村市船引町地内の現況

【主な事業箇所】

- 大滝根川（田村市）など
- 下水汚泥のリサイクル
県中浄化センター（郡山市）
大滝根水環境センター（田村市）



阿武隈川上流流域下水道
県中浄化センター（郡山市）

取組5 建設業の担い手確保

建設業が環境の変化に対応し、持続可能な活力ある産業となるよう、将来の建設業を担う子どもたちに、建設業に対する関心を高めてもらうための現場見学会



重機乗車体験

等を開催します。

また、建設業の魅力や重要性を発信するため、事務所ホームページ等で積極的な広報に努めます。



野芝張り体験

取組6 産業を支える道路整備

震災復興のための中通りと浜通りを結ぶ地域連携道路及び南東北の物流拠点である重要港湾小名浜港から中通りを始めとする県内各産業集積地への物流を支える道路の整備を推進します。

幅員拡幅や線形改良により、安全で円滑な交通を確保し、物流の効率化を図ります。

【主な事業箇所】

- いわき石川線 長光地工区（古殿町）など



県道いわき石川線 古殿町長光地工区の現道状況

1

第1編
基本構想編

2

第2編
基本計画編

3

第3編
地域別計画編

4

第4編
計画の進行管理

5

第5編
資料編

具体的な取組

取組7 広域観光と物流への支援

広域的な物流・観光と救急・地域医療などを担う重要な路線について、その役割を通年にわたり十分に果たせるよう線形不良区間の整備を進めます。

【主な事業箇所】

- 国道294号 福良バイパス（郡山市）
国道118号 牧之内工区（天栄村）など



国道294号 福良地内の現道状況

航空機が離着陸する際、滑走路を超えて走行し停止する「オーバーラン」等を起こした場合に航空機の損傷を軽減させるため設けられている滑走路端安全区域（RESA）を拡張します。



福島空港滑走路端安全区域拡張箇所

取組8 中心市街地の活性化

中心市街地の活性化を図るため、地域の歴史や文化をいかした道路整備を推進し、市町村を支援します。また、ユニバーサルデザインにも配慮し、都市防災機能向上のため、無電柱化の推進を図ります。

【主な事業箇所】

- 都市計画道路須賀川駅並木町線南町工区（須賀川市）など



都市計画道路須賀川駅並木町線
須賀川市南町内の現道状況

取組9 持続可能な地域づくり

- 郡山市湖南地区

湖南地区は、郡山市の北西に位置し、猪苗代湖や布引高原など豊かな自然環境を有していると同時に、人口減少や高齢化などの課題を抱えた中山間地域です。

豊かな地域資源や観光地をつなげ、地域の活性化のため、地元の方々とともに地域づくりを進めます。

- 玉川村乙字ヶ滝地区

乙字ヶ滝は、玉川村と須賀川市の境に位置し、日本

の滝百選のひとつです。

乙字ヶ滝のある阿武隈川沿いにはここが起点となるみちのく自転車道が通っています。

滝の美しい景観や歴史的資源等を活用した地域づくりを地元の方々とともに進めます。

- 空き家再生、移住定住の支援

顕在化する空き家問題に対し、空き家の活用・除却を支援します。



郡山市湖南地区の懇談会の様子



乙字ヶ滝
(玉川村)



みちのく自転車道



第3編

県南地域

地域の特性

- 県南地域は、本県の南部に位置し、関東圏と隣接する地理的優位性があります。
- 那須連峰や八溝山系の緑豊かな森林に囲まれ、阿武隈川・久慈川・那珂川・鮫川の4水系の源流を有する、美しく豊かな自然に恵まれた地域です。
- 西白河地方は、東北新幹線、東北自動車道の高速度交通網が発達し、首都圏との時間距離が短いほか、あぶくま高原道路による福島空港へのアクセス性などの優位性から輸送用機械や半導体、医療関連産業などの製造業を中心したものづくり産業が集積しています。
- 過疎・中山間地域である東白川地方は、多様な自然条件をいかした農林業が盛んです。
- 古の時代から奥州の玄関口として知られている白河関跡、白河小峰城跡や棚倉城跡、日本最古の公園といわれる南湖公園、さらには国内有数の規模を誇る白河だるま市や白河提灯まつり等、歴史的文化遺産や魅力的な伝統文化が数多く残され、地域に根付いています。

現状と課題

- 源流域である県南地域においても、近年の異常気象による災害が発生していることから、人命を守るための対策が求められています。
- 県南地域は、交通量が多い幹線道路が各市町村の中心市街地内を通過していることから、子どもから高齢者まで、全ての人が安全に安心して歩ける道づくりが求められています。
- いわき地域や北関東地域等へのアクセスとなる山間部の道路が狭隘や線形不良等により脆弱となっており、物流や広域連携を促進するための広域的な道路ネットワークの強化が課題となっています。
- 東白川地方の過疎・中山間地域は、地域住民の生活を支える道路等の整備が遅れており、安全に安心して暮らせるための社会資本の整備が求められています。
- 県南地域の特性である緑豊かな森林や源流域などの自然や歴史的文化遺産などの地域資源について、地域づくりや観光交流への活用が課題となっています。

基本方針と取組

基本方針Ⅰ 安全・安心のまちづくりを目指します。

- 取組1 災害に強いまちづくりのため、緊急時の輸送路の確保や流域全体の取組中の治水対策・土砂災害の防止等、人命や財産を守る社会資本の計画的な整備を推進します。
- 取組2 県有施設の長寿命化及び計画的・戦略的な維持管理を実施します。
- 取組3 児童・生徒、高齢者や障がい者を始めとする全ての人が安全に安心して歩ける歩行空間等の整備を推進します。



落石状況

基本方針Ⅱ 隣接地域とのつながりをいかした活力あるまちづくりを目指します。

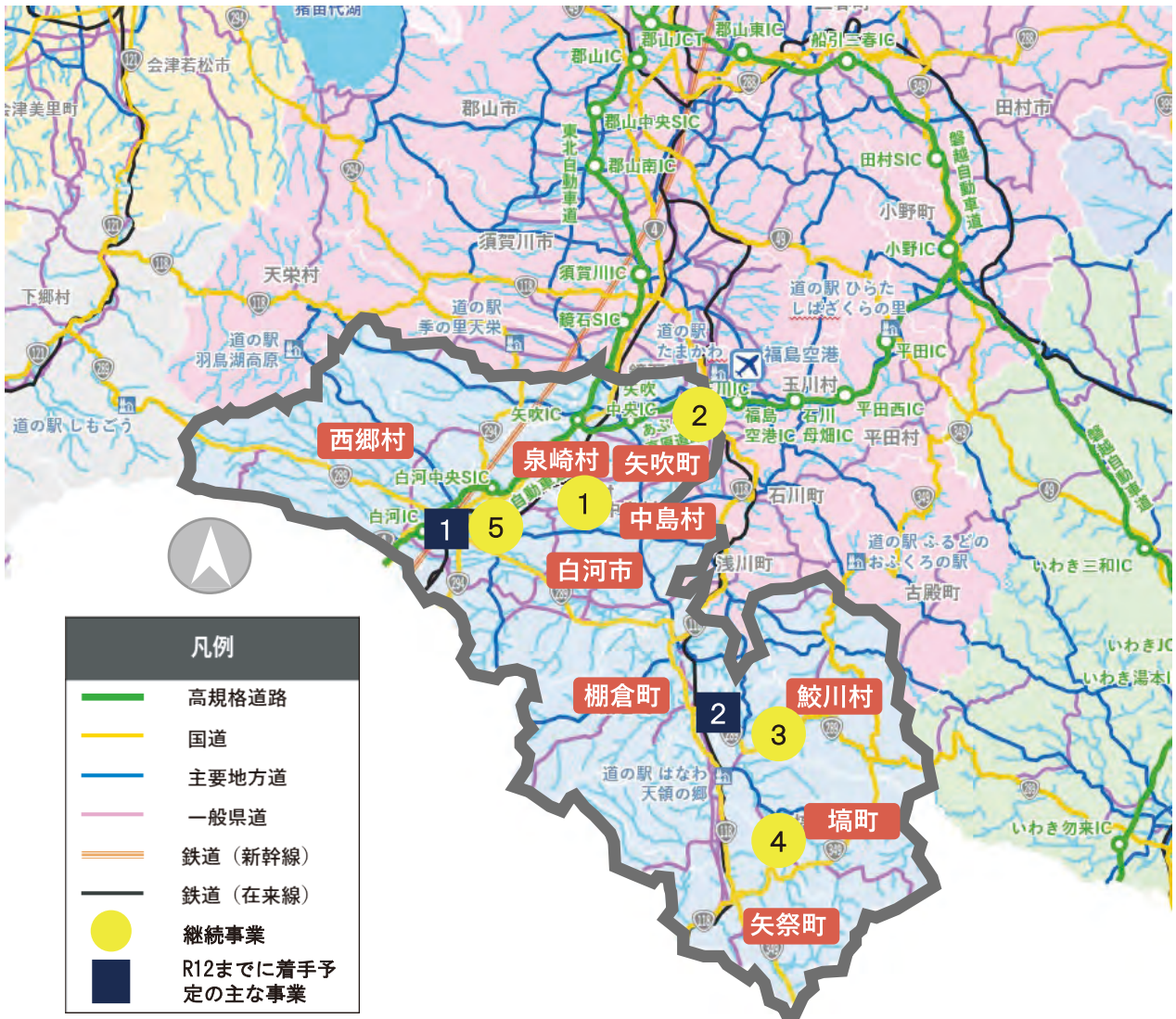
- 取組4 いわき地域や北関東地域等との物流や産業振興を促進する広域的な道路ネットワークの強化や幹線道路の整備、維持管理を推進します。
- 取組5 過疎・中山間地域の振興支援のための道路整備を推進します。

基本方針Ⅲ 地域とともに元気のあるまちづくりを目指します。

- 取組6 観光交流を促進するため、歴史や文化をいかした地域づくりや道の駅の整備を支援します。
- 取組7 中心市街地の活性化を支援するため、にぎわい創出に寄与する市街地の幹線道路の整備を推進します。
- 取組8 地域と連携した道路、河川の清掃、美化活動等の維持管理活動を推進します。
- 取組9 将来にわたり建設業の担い手を確保するため、建設業の魅力や重要性、新しい技術等を発信する取組を推進します。



地域と連携した維持管理活動



【主な継続事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地	着手年度	完成目標時期		
							前期	中期	後期
1	2	1	1	砂防施設 木ノ内前沢3号	泉崎村	R3 (2021)	●		
2	3	4	3	歩道整備 石川矢吹線(神田南)	矢吹町	R3 (2021)		●	
3	6	1	4	道路整備 国道289号(江竜田)	鮫川村	R2 (2020)			●
4	3	4	5	道路整備 高萩塙線(木野反)	塙町	H16 (2004)			●
5	4	2	7	街路事業 白河駅白坂線向新蔵工区 西郷翫目線円明寺工区	白河市	H27 (2015)		●	

【令和12年度までに着手予定の主な事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地
1	3	1	1	無電柱化 国道289号(立石)	白河市
2	6	1	4	道路整備 国道289号(常世北野)	塙町

完成目標時期
 前期 (～R6)
 中期 (～R9)
 後期 (～R12)

※事業箇所は、地域課題に対する主な対応箇所です。

1 第1編 基本構想編
 2 第2編 基本計画編
 3 第3編 地域別計画編
 4 第4編 計画の進行管理
 5 第5編 資料編

具体的な取組

取組1 災害に強いまちづくり

近年頻発する自然災害に備えるため、流域治水の下、河川改修、河道掘削等や砂防施設整備等を計画的に進めるとともに、緊急時の輸送路を確保するため、災害防除や電線共同溝整備を行いながら、総合的な事前防災・減災対策を推進し、県南地域の強靱化を図ります。

【主な事業箇所】

- 河川改修 久慈川 など
- 河道掘削等 阿武隈川 など
- 砂防施設 木ノ内前沢3号(泉崎村) など
- 災害防除 八溝山線大梅工区(棚倉町) など
- 電線共同溝 国道289号立石工区(白河市) など



久慈川(矢祭町)

取組2 県有施設の長寿命化及び計画的・戦略的な維持管理

橋梁やトンネル、県営住宅等多数の県有施設が今後、更新時期を迎えることから、ライフサイクルコストの最小化、及び施設の更新時期の平準化を図るため、公共施設等総合管理計画に基づく長寿命化及び計画的・戦略的な維持管理を実施します。

【主な事業箇所】

- 矢吹大橋(矢吹町) など
- 県営住宅の長寿命化 松風の里団地(白河市) など



松風の里団地(白河市)



矢吹大橋(矢吹町)

取組3 全ての人々が安全に安心して歩ける歩行空間の確保

児童・生徒を始め、高齢者や障がい者を含む全ての人々が、快適で安全に安心して利用できるユニバーサルデザインを取り入れた歩行空間を整備し、人にやさしい道づくりを推進します。

【主な事業箇所】

- 国道118号 並木工区(矢祭町) など



国道118号(矢祭町)

取組4 物流・産業振興の支援と地域活力向上のための広域ネットワークの形成や幹線道路の整備・維持管理

7つの地域を連携する道路の整備

県土の骨格を形成する南部軸として、いわき地域等との広域的なネットワークを形成し、物流や産業振興を促進するための道路整備を推進します。

【主な事業箇所】

- 国道289号 江竜田工区(鮫川村) など



国道289号(鮫川村)

隣接県との連携を強化する道路の整備

北関東地域との交流・連携を強化し、交流・二地域居住、広域観光交流や産業振興等のF I T構想^{*42}の実現に向けた道路整備を推進します。

【主な事業箇所】

- 国道289号 南湖拡幅工区(白河市) など



棚倉矢吹線(中島村)

地域の活力向上のための幹線道路の整備

高速交通網へのアクセス等を強化するとともに、地域内の円滑な交通を確保し、地域の活力向上に資する道路整備を推進します。

【主な事業箇所】

- 棚倉矢吹線 中島北バイパス工区(中島村) など

具体的な取組

取組5 過疎・中山間地域の振興支援

過疎・中山間地域の地域住民の生活や産業を支えるとともに、安全に安心して暮らすための生活道路を整備します。

【主な事業箇所】

- 勿来浅川線 遠ヶ電工区(鮫川村)
- 高萩埴線 木野反工区(埴町) など



勿来浅川線(鮫川村)

取組6 観光交流の促進

久慈川沿川の桜並木や自転車道等の地域資源を活用し、交流人口の拡大を図り、健康で生き生きと暮らせる市町村の地域づくりを支援します。

【主な事業箇所】

- 久慈川沿川(埴町) など



久慈川沿川の桜並木



久慈川(埴町)

観光地へのアクセス道路等の各種情報の提供や休憩施設を提供する道の駅の整備を支援し、観光交流人口の拡大を促進します。

【主な事業箇所】

- 道の駅整備 道の駅「(仮称)にしごう」(西郷村)



道の駅「(仮称)にしごう」予定地(西郷村)

取組7 中心市街地の活性化支援

にぎわい創出に寄与し、沿線の活性化を支援するため、中心市街地を東西南北に貫く幹線道路の整備を推進します。

【主な事業箇所】

- 都市計画道路 白河駅白坂線、西郷掬目線(白河市)

空き家対策を効果的に推進するとともに、移住・定住や二地域居住の促進、子育て世代等の居住の安定等を図るため、空き家の有効活用等を支援します。



都市計画道路 白河駅白坂線(白河市)

取組8 地域と連携した維持管理活動

- うつくしまの道・川サポート制度

近年のボランティア活動の活性化や地域の景観・環境の保全に対する意識の高まりにより、地域と共に道路、河川の清掃・美化活動を行います。



うつくしまの川サポート制度

取組9 建設業の担い手確保

- 建設現場見学会

建設業界と連携し、将来の建設業を担う子どもたちに早い段階から建設業に対する興味や関心を高めてもらうための現場見学会を開催し、重要な社会的役割を担う建設業への理解の浸透を図ります。



現場見学会



第3編

会津地域

会津若松地域

会津若松 地域

歴史・伝統文化・産業など、会津の「宝」を最大限にいかし、
地域連携による持続可能で魅力あふれる会津地域の創造

地域の特性

- 会津若松地域は、福島県の北西部に位置し、西は越後山脈、東は奥羽山脈に囲まれ、県全体の約十分の一の面積を有しています。
- J R各線や高速道路網によって太平洋側や日本海側と結ばれており、第3セクターの会津鉄道等によって首都圏とも直結しています。
- 連携軸のうち横断道軸（磐越自動車道）と会津軸（会津縦貫北、南道路）が交差することから、広域交流

を支える要衝となっています。また、交通網の利便性を生かし、電子部品・デバイス、電子回路関連・医療用機器関連産業を中心に集積が進んでいます。

- 山間部では、豊富な雪解け水を利用した水力発電所や、地熱を利用した発電所が立地しています。
- 全国的に名高い歴史や文化を有していることから、本県観光の中心的地域となっています。

現状と課題

- 地域内を只見川や阿賀川が縦横断しており、平成23年新潟・福島豪雨などによる大きな被害を受けたことや山間部が豪雪地帯であることを踏まえ、道路や河川などの災害に強いインフラ整備と、地域の防災・減災に係る体制の強化や住民意識の向上が求められています。
- 特に奥会津地域では、人口減少や高齢化が進行しているため、地域力の強化が求められています。
- 安全で安心な生活を確保するために、豪雪地域にお

ける冬期間の除雪対策や、管理施設の適切な維持が求められています。

- 地域産業の活性化や広域観光の交流などを支援するための道路整備が求められています。
- 阿賀川沿いに広がる美しい田園風景や只見川沿いに広がる渓谷と日本の原風景、さらには、会津地域に息づく歴史や伝統文化を次世代へ継承するための、取組が求められています。

基本方針と取組

基本方針Ⅰ 安全で安心な暮らしやすい環境づくりを進めます。

- 取組1 豪雨や地震などの自然災害に強い河川や砂防施設を整備します。
- 取組2 豪雨や地震などの自然災害や雪に強い道路を整備します。
- 取組3 誰もが安心して暮らせる生活環境づくりを進めます。
- 取組4 計画的かつ戦略的な施設の維持管理を行います。

基本方針Ⅱ 会津ならではの産業や交流を支援します。

- 取組5 物流機能の強化や広域連携を支援する道路を整備します。
- 取組6 新潟県と奥会津地域や会津平野を結ぶ広域ネットワークを強化します。
- 取組7 市町村の振興を支援する道路を整備します。
- 取組8 地域の安全安心を守る建設業の担い手育成に取り組みます。

基本方針Ⅲ 一人ひとりが誇りを持てるよう、会津の宝を守り育てます。

- 取組9 会津ならではのまちづくりを支援する道路を整備します。
- 取組10 会津の宝をつなぐ自転車道を整備し、地域の活性化と健康づくりを支援します。
- 取組11 原風景が息づく奥会津の魅力を磨き上げます。



河川堤防の整備状況（只見川）



広域ネットワーク道路
国道252号（金山町）



鶴ヶ城（会津若松市）



【主な継続事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地	着手年度	完成目標時期		
							前期	中期	後期
1	2	1	1	河川整備 只見川	会津坂下町、柳津町、三島町、金山町	H27 (2015)	R12以降		
2	3	4	2	道路整備 会津若松三島線 (大谷)	三島町	H25 (2013)			●
3	6	1	5	道路整備 会津縦貫北道路4-2工区	会津若松市	H28 (2016)			●
4	6	2	10	自転車道整備 会津若松熱塩温泉自転車道線 (芦ノ牧温泉～熱塩温泉)	会津若松市	H8 (1996)			●
5	4	2	11	地域づくり JR只見線、只見川及び国道252号	三島町、金山町	H30 (2018)	●		

【令和12年度までに着手予定の主な事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地
1	2	1	1	砂防施設 水上沢	柳津町
2	6	1	5	道路整備 会津縦貫南道路 (2工区)	会津若松市

完成目標時期
 前期 (～R6)
 中期 (～R9)
 後期 (～R12)

※事業箇所は、地域課題に対する主な対応箇所です。

具体的な取組

取組1 自然災害に強い河川や砂防施設の整備

平成23年新潟・福島豪雨で甚大な被害を受けた只見川の河川改修について、管内20地区（会津坂下町、柳津町、三島町、金山町）で整備を推進します。

- 慶山沢（会津若松市）の砂防堰堤の整備

土石流から災害時要配慮者利用施設等を優先的に保全するため、砂防堰堤などの整備を進めます。

- ハード対策とソフト対策の一体的な取組

洪水氾濫を未然に防ぐため、ハード対策（河道掘削、河道内伐木など）やソフト対策（危機管理型水位計・ライブカメラの設置や浸水想定区域図の作成）を推進し、市町村と連携して、災害に強い生活環境づくりを進めます。



河川堤防の整備状況（只見川）

取組2 自然災害や雪に強い道路の整備

異常気象時の孤立集落を解消するため、会津若松三島線（大谷工区）等の道路整備を推進します。

【主な事業箇所】

- 会津若松三島線（三島町）など

地吹雪による視界不良や雪崩などによる通行止めを防ぐため、スノーシェルターや防雪柵を設置します。

【主な事業箇所】

- 国道400号（昭和村）、会津坂下会津本郷線（会津坂下町）など

落石などの危険箇所について、法面対策を実施します。

【主な事業箇所】

- 湯川大町線（会津若松市）など

取組3 安心して暮らせる生活環境づくり

誰もが安心して暮らせるよう、県営住宅の屋上断熱防水や給湯設備設置・バリアフリー化などの長寿命化リフォームを進めます。

【主な事業箇所】

- 対馬館団地（会津若松市）など

特に過疎地域で深刻化している空き家対策について、調査・リフォーム費用の補助等をPRするとともに、地域との連携により、空き家の利活用を促進し、定住・二地域居住を進めます。

耐震診断・耐震改修の支援等をPRし、県民意識を高めながら、住宅や建築物の耐震化を促進し災害に強い生活環境づくりを進めます。



リフォーム前



リフォーム後

取組4 計画的かつ戦略的な施設の維持管理

河川や道路の維持管理、除雪作業は、地域の安全安心を支える上で、必要不可欠であるため、適時適切に対応します。一方で、特に中山間地域では、人口減少・高齢化のため、建設業従事者が年々減少傾向にあります。このような背景から宮下土木管内では、河川・道路の維持補修業務及び除雪を通年で一括して委託（包括維持管理委託）することで、通年の維持管理活動を持続できる体制を構築し、地域住民の安全安心を確保します。

これまでに整備した社会資本が老朽化し、今後急速に更新時期を迎えることから、橋梁やトンネル、県営住宅などの既存施設の点検を定期的に行い、計画的な補修により、施設の長寿命化を図り、安全を確保します。

また、自然観察やスポーツなどが楽しめる会津レクリエーション公園の適切な維持管理を行うとともに、安全で楽しく利用できる環境整備を進めます。

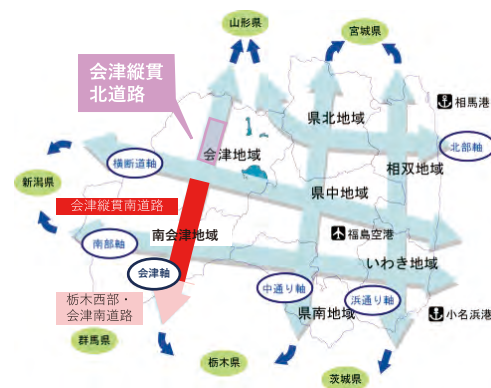
具体的な取組

取組5 物流機能の強化や広域連携を支援する道路整備

太平洋地域と日本海地域を結ぶ横断道軸との連携の強化を図り、さらには、関東圏と山形県を結ぶ会津軸の広域連携の強化を図るため、会津縦貫北道路（4-2工区）の整備を推進するとともに、会津縦貫南道路（2工区）の事業着手を目指します。

【主な事業箇所】

- 会津縦貫道（会津若松市）



取組6 広域ネットワークの強化

交通不能区間である、新潟県三条市と福島県只見町をつなぐ国道289号八十里越道路が整備されると、新潟県～奥会津地域～会津平野の交流が一層活発化することから、国道401号（新鳥居峠）の整備を通じて、広域圏の交流促進に寄与します。

【主な事業箇所】

- 国道401号 新鳥居峠（昭和村）など



現道の状況 国道401号（昭和村）

取組7 市町村振興の支援

会津若松市街地と旧北会津村は、平成16年に合併しましたが、阿賀川を挟む形で位置し、その東西を結ぶ会津若松三島線（蟹川橋）は、幅員が狭く渋滞が発生するなど、通行の支障となっています。

このため、新たに東西を結ぶ橋梁を整備し、相互を連絡する道路網を強化することで、市町村の振興を支援します。

【主な事業箇所】

- 会津若松三島線 阿賀川新橋（会津若松市）など



現道の渋滞状況
会津若松三島線 蟹川橋（会津若松市）

取組8 建設業振興の支援

地域の安全で安心な暮らしを支える上で、河川及び道路の維持管理や災害復旧の対応など、建設業はなくてはならない存在です。

一方で、地方の建設業への入職希望者は減少するとともに高齢化が進んでいます。

この状況を改善すべく、ICT活用工事の導入による生産性の向上や週休2日確保による働きやすい環境づくりを新しい生活様式を踏まえながら推進します。

地元建設業協会と協働で、現場見学や建設現場を題材としたフォトコンテストを実施するなどPR活動を行い、建設業の魅力を発信し、新たな担い手の確保を支援します。

また、地震や風水害等の自然災害に対する普段からの備えや対応など、小・中・高校生への出前講座を実施するとともに、建設業の重要性を伝える活動を積極的に行います。



小学生への出前講座の状況

1

第1編
基本構想編

2

第2編
基本計画編

3

第3編
地域別計画編

4

第4編
計画の進行管理

5

第5編
資料編

具体的な取組

取組9 まちづくりを支援する道路整備

大正ロマン溢れる街並みの七日町通りは、会津五街道の起点である会津若松市大町四つ角に位置しており、県内有数の観光地です。

このため、地域の資源である街並みと調和した景観の形成と冬期間でも安心して街歩きが楽しめるよう、電線類地中化及び歩道無散水消雪を整備します。

【主な事業箇所】

- 国道252号 七日町工区（会津若松市）など



電線類地中化整備後の街並み
国道252号（会津若松市）

取組10 自転車道の整備

- 会津若松熱塩温泉自転車道線の整備（会津若松市～喜多方市）

南北に広がる会津盆地には、温泉地や城下町、蔵の町や寺社仏閣など、会津の宝が散在しています。これらを阿賀川などの河川に沿ってつなぐ、会津若松熱塩

温泉自転車道線（会津若松市芦ノ牧温泉～喜多方市熱塩温泉）を整備するとともに、自転車で走って楽しめるように案内誘導標識を配置し、さらには、市町村を始めとする関係機関との連携により、イベント等が開催されるよう、地域の交流を促進します。



取組11 奥会津の魅力の磨き上げ

奥会津では、JR只見線、只見川及び国道252号が並走しており、訪れる人々に奥会津の原風景を様々な角度から楽しませてくれます。近年は、外国人旅行者の人気スポットとなっています。

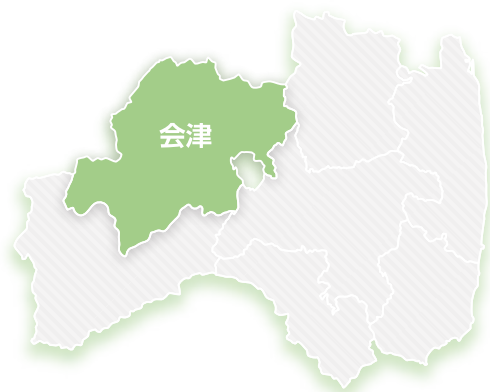
町村と役割を分担し、ビューポイントの整備を進め、良好な景観構築を図り、地域の方々が地域の風土や景観などに、より愛着や誇りが持てるよう一層醸成するとともに、交流人口の拡大を図ります。



ビューポイント整備前



ビューポイント整備後（三島町）



第3編

会津地域

喜多方地域

地域の特性

- 喜多方地域は、県土の北西部、会津盆地の北に位置し、喜多方市周辺の平坦部と、飯豊山や磐梯山が織りなす山岳地帯で構成されています。隣接する会津若松地域とは、就労、通学を始め様々な面で密接な関係にあり、また新潟県や山形県との結びつきも強くなっています。
- 横断道軸（磐越自動車道）及び会津軸（会津縦貫北道路、大峠道路）が整備されており、交通網の利便性をいかし、様々な交流や、産業の集積、医療福祉等に寄与しています。
- 歴史・文化的資産などの観光資源が豊富で、「蔵」や「ラーメン」、「地酒」といった全国でも有名な地域資源に恵まれ、磐梯朝日国立公園が織りなす自然景観とともに、本県の観光の中心的地域となっています。

現状と課題

- 河川や道路などの災害に強いインフラ整備を始め、地域の防災・減災対策に集中的に取り組み、自然災害に対する備えを一層充実させることが必要です。
- 雪国での安全・安心な生活を支えるため、除雪を始め消融雪施設の整備や雪寒対策の推進と、各種インフラの長寿命化など計画的な維持管理が必要です。
- 観光交流人口の拡大や、地域産業の振興を支援するため、幹線道路の整備が必要です。
- 豊かな自然や歴史・文化、伝統などの地域の宝をいかしたまち（地域）づくりを進める必要があります。
- 人口減少や少子高齢化にともない深刻となっている空き家対策や、地域活力向上のための定住・二地域居住を進めることが必要です。

基本方針と取組

基本方針Ⅰ 地域の安全・安心な生活を支える基盤づくりを進めます。

- 取組1 豪雨や地震などによる自然災害に対して、計画的な災害防止施設の整備等による、ハード・ソフトが一体となった総合的な防災・減災対策を進めます。
- 取組2 代替路や災害に強い道路の整備、除雪や消融雪施設による冬期間の円滑な交通確保等により、地域の暮らしを支えるみちづくりを進めます。
- 取組3 橋梁など、長寿命化計画に基づき、予防保全的な視点に立った老朽化対策等により、地域の安全・安心を確保します。

基本方針Ⅱ 地域の特性をいかし、地域産業の振興や様々な地域間交流を支援します。

- 取組4 交流人口の拡大や、様々な産業の振興による若年層の定着を支援するため、地域間の交流・連携を支える道路ネットワークの整備を進めます。
- 取組5 地域の活力再生に向け、観光振興を支援する道路や、利便性の高い生活道路の整備を進めるとともに、道の駅の観光や防災など、地方創生を加速する取組を支援します。
- 取組6 地域に根ざした建設産業等の振興を支援します。

基本方針Ⅲ 地域の風土をいかしたおもてなしのまち（地域）づくりを進めます。

- 取組7 磐梯山や猪苗代湖等に代表される豊かな自然や景観、歴史、文化など、地域の風土をいかした地域づくりを地域の方々と進めるとともに、空き家を地域の資源として捉え、空き家を活用した定住・二地域居住等への支援を行います。



河道掘削状況 濁川（喜多方市）



除雪状況



国道459号 藤沢（喜多方市）



懇談会（喜多方市新宮地区）



凡例	
	高規格道路
	国道
	主要地方道
	一般県道
	鉄道（新幹線）
	鉄道（在来線）
	継続事業
	R12までに着手 予定の主な事業



【主な継続事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地	着手年度	完成目標時期		
							前期	中期	後期
1	2	1	1	砂防施設 熱塩沢筋	喜多方市	H27 (2015)		●	
2	2	1	1	河川整備 長瀬川筋	猪苗代町	H2 (1990)			●
3	6	1	2	道路整備 喜多方西会津線（峯）	喜多方市 西会津町	H25 (2013)			●
4	3	4	4	道路整備 国道459号（見頃・堂山・藤沢）	喜多方市	H24 (2012)			●
5	6	2	5	道路整備 会津若松裏磐梯線（檜原3・金山3）	北塩原村	H26 (2014)			●

【令和12年度までに着手予定の主な事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地
1	2	1	1	砂防施設 長谷川	西会津町
2	3	4	4	道路整備 国道459号（大綱木）	西会津町

完成目標時期
前期（～R6）
中期（～R9）
後期（～R12）

※事業箇所は、地域課題に対する主な対応箇所です。

具体的な取組

取組1 ハード・ソフトが一体となった総合的な防災・減災対策

土砂災害から生命と財産を守る砂防施設の整備を始め、土石流等の危険箇所対策を推進します。

洪水被害を防ぐため、河川整備や河道内の掘削・伐木等を推進するとともに、中小河川の浸水想定区域図作成や危機管理型水位計の設置など、ハードとソフト両面の対策を推進します。

【主な事業箇所】

- 熱塩沢筋 熱塩工区 (喜多方市) など
- 長瀬川 西館工区 (猪苗代町) など



熱塩沢 浸水被害状況



長瀬川整備状況

取組2 災害に強いみちづくり、冬期交通の安全・安心の確保

阿賀川の冠水や地滑り等の自然災害に備え、災害に強い道づくりを推進します。

万全な除雪体制の確立を始め、消融雪施設や防雪柵の整備等を推進します。

【主な事業箇所】

- 喜多方西会津線 峯工区 (喜多方市・西会津町)、新郷荻野停車場線 揚津工区 (喜多方市) など



喜多方西会津線 (峯) 被害状況



新郷荻野停車場線 揚津 (喜多方市)



国道459号 要害山 (北塩原村)



上郷下野尻線 上野尻 (西会津町)

取組3 インフラの老朽化対策

管内の既存インフラの多くが今後更新時期を迎えることから橋梁、トンネルや県営住宅等の長寿命化計画を基に、計画的な補修による予防保全を実施し、施設の長寿命化と安全・安心を確保します。



橋梁補修状況
国道459号 高橋橋 (北塩原村)

取組4 道路ネットワークの整備

5市町村が合併した喜多方市の一体化を始め、喜多方地域の広域的な道路ネットワークの強化や緊急輸送路及びIC、工業団地のアクセス向上などにより、市町村振興を支援する道路整備を推進します。

【主な事業箇所】

- 国道459号 見頃工区・藤沢工区・堂山工区 (喜多方市)
喜多方西会津線 小舟寺工区 (喜多方市)
国道400号 沼新田工区 (西会津町) など



国道459号 堂山 (喜多方市)



喜多方西会津線 小舟寺 (喜多方市)



国道400号 沼新田 (西会津町)

具体的な取組

取組5 観光振興を支援するみちづくり

観光交流人口の拡大や、観光地等の拠点施設へのアクセス改善につながる道路整備を推進します。

【主な事業箇所】

- 会津若松裏磐梯線 檜原3工区・金山3工区（北塩原村）、壺楊本町線 関都工区（猪苗代町）など

観光客等の歩行空間を確保し、市街地内の回遊性を高める道路整備を進めます。

【主な事業箇所】

- 国道459号 上町工区（喜多方市）など

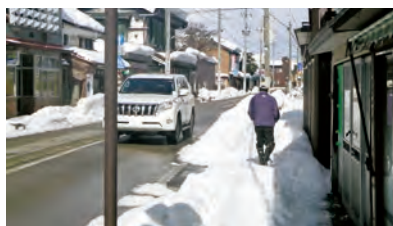
道の駅の観光や防災など、地方創生に向けた取組を、市町村等と連携しながら支援します。

【主な事業箇所】

- 道の駅（猪苗代町）の機能向上に向けた取組



会津若松裏磐梯線 檜原3（北塩原村）



国道459号 上町（喜多方市）



道の駅猪苗代（猪苗代町）

取組6 持続可能な建設業への支援

小中学生等を対象とした現場見学会の開催等を通じ、担い手確保に向けた活動を実施します。

また、週休2日確保工事やICT施工、現場遠隔臨場、ドローン活用等の新技術を活用し、受注者の働きやすい環境づくりや建設業の生産性向上を推進します。



現場遠隔臨場



現場見学会

取組7 地域の資源や特性をいかしたまち（地域）づくり支援

憩いのある街なか空間づくりや、地域資源をいかした地域づくりへの支援を行います。

【主な事業箇所】

- 国道459号 上町工区（喜多方市）、新宮地区（喜多方市）、中ノ沢地区（猪苗代町）など

裏磐梯地区や猪苗代湖、大川喜多方サイクリングロードにおける自転車利活用の向上や、喜多方市街地を始め歴史的街並みをいかしたまちづくりへの支援など、地域が進める地域活性化に向けた取組を、地域と連携して進めます。

中山間部の過疎地域を始め、市街地部においても深刻化している空き家について、調査やリフォーム費用の補助等により、空き家の再生や利活用を支援します。



大谷川（磐梯町）



大川喜多方サイクリングロード（喜多方市）

1

第1編
基本構想編

2

第2編
基本計画編

3

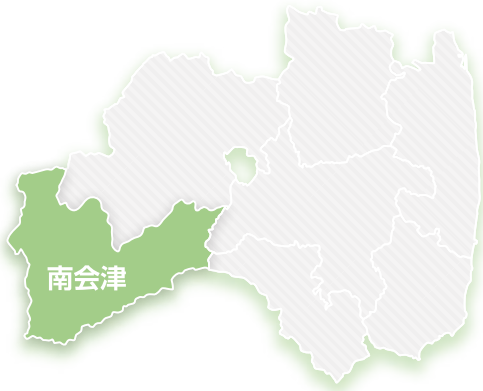
第3編
地域別計画編

4

第4編
計画の進行管理

5

第5編
資料編



第3編

南会津地域

南会津 地域

豊かな魅力をいかし交流を促進する持続可能な 生活・交流圏～思いやりとおもてなしの心をもって～

地域の特性

- 南会津地域は、福島県の南西部に位置し、3町1村（下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町）で構成され、阿賀川流域の東部地域と只見川・伊南川流域の西部地域に大別されます。神奈川県とほぼ同じ面積を有し、その大部分が広葉樹林を主体とした森林となっています。
- 東部には阿賀川、西部には只見川、伊南川、館岩川が流れ、河川に沿った道路を中心に集落が形成されています。
- 鉄道網では、会津・野岩鉄道において東武鉄道特急「リ

バティ会津」により首都圏と直結し、JR只見線により新潟県と結ばれているほか、会津縦貫南道路や国道289号など広域的な道路による交通ネットワークを活用して、観光の振興による交流人口の拡大や定住・二地域居住の推進に取り組んでいます。

- 尾瀬や広大なブナ原生林等の雄大な自然環境に加え、「会津田島祇園祭」や「檜枝岐歌舞伎」等の伝統文化、「大内宿」や「前沢曲家集落」に代表される原風景、温泉やスキー場等の観光資源、夏季の冷涼な気候をいかしたトマト栽培等の農産物にも恵まれています。

現状と課題

- 地域内には急峻な地形が多く、過去には豪雨により甚大な被害が発生していることから、豪雨災害等からの早期復旧・復興、落石や土砂災害等の自然災害に対する備えと、安全・安心な暮らしの確保が求められています。
- 南会津地域は他地域に比べ道路網が脆弱であり、災害時の代替路線を含めた道路網の整備が求められています。
- 豪雪から地域住民の足を確保し、雪国の暮らしを支える除雪体制の構築や雪崩危険箇所への対策が求め

られています。

- 優れた自然環境や文化、歴史的景観などをいかした地域づくりや、観光地への円滑なアクセスの確保などが求められています。
- 南会津地域には、第3次救急医療が無く、救急搬送時間の短縮が求められています。
- 人口減少を踏まえ、移住や定住につながる空き家等の再生への支援を行う必要があります。
- 隣県に近い地の利をいかした交流人口の拡大を支援する連携軸の強化が求められています。

基本方針と取組

基本方針Ⅰ 頻発する自然災害に備え、災害に強い社会基盤整備を図るため、防災・減災、国土強靱化対策を着実に実施します。

- 取組1 ハード・ソフト整備が一体となった総合的な治水対策を進めます。
- 取組2 自然災害から県民の命と財産を守るため、防災・減災、国土強靱化対策を進めます。
- 取組3 災害に強い道路ネットワークの形成により、地域の安全・安心を確保します。



只見川の被災状況

基本方針Ⅱ インフラ施設の適切な維持管理を実施するとともに、除雪体制の構築や雪崩対策等を行い、一年を通じた地域の安全・安心を確保します。

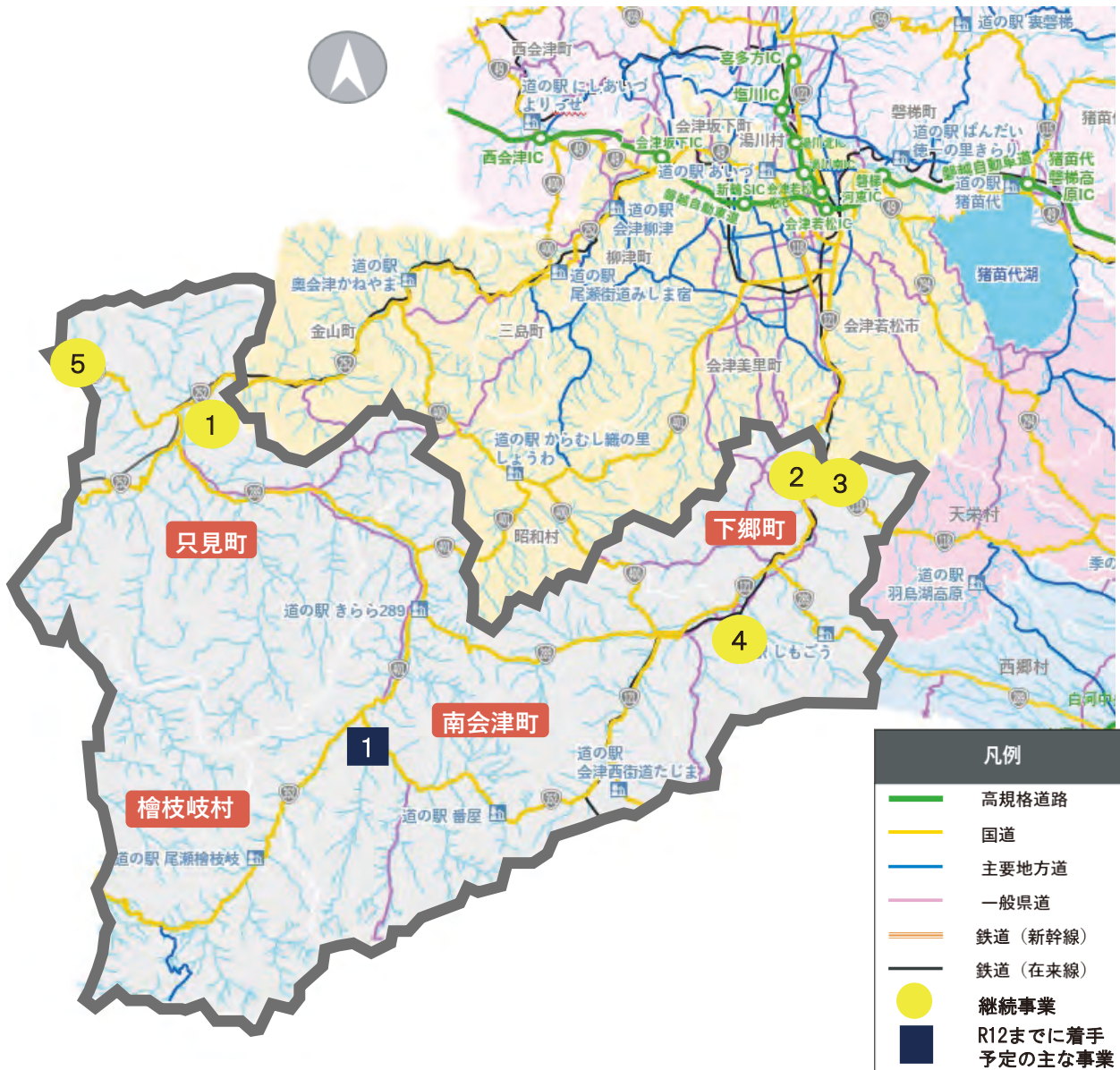
- 取組4 長寿命化計画による適切な維持管理を推進します。
- 取組5 持続可能な除雪体制を目指し、冬期間の除雪等による住民の足を確保します。
- 取組6 住民生活の安全を支え、主産業である建設業の振興を支援します。

基本方針Ⅲ 地域内の安全を確保するとともに、地域内外との連携強化、交流・関係人口拡大を支援するため、広域道路ネットワークの強化を図ります。

- 取組7 県土の骨格を形成し、広域連携を支援する道路整備を推進します。
- 取組8 隣県と連携して交通不能区間を解消し、広域連携を図る道路整備を推進します。
- 取組9 地域間の連携を強化するとともに、地域内の安全を確保し、観光や医療・福祉等の産業を支える、人にやさしい道路整備を推進します。

基本方針Ⅳ 美しく豊かな地域資源をいかした地域づくりを支援するとともに、新しい生活様式の実践にもつなげる定住・二地域居住を支援します。

- 取組10 伝統や文化、歴史、風土等の豊かな地域資源をいかした地域づくりを支援します。
- 取組11 新しい生活様式の実践にもつなげる定住・二地域居住の増加を図るため、空き家や古民家の再生を支援します。



【主な継続事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地	着手年度	完成目標時期		
							前期	中期	後期
1	2	1	1	河川整備 只見川	只見町	H27 (2015)	R12以降		
2	3	1	3	災害防除 国道118号 (小野岳)	下郷町	H24 (2012)	●		
3	6	1	7	道路整備 会津縦貫南道路 (4工区)	下郷町	H14 (2002)		●	
4	6	1	7	道路整備 会津縦貫南道路 (5工区)	下郷町 南会津町	H27 (2015)			●
5	6	1	8	道路整備 国道289号 八十里越 (入叶津道路)	只見町	S48 (1973)		●	

【令和12年度までに着手予定の主な事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地
1	6	1	9	道路整備 国道352号 (たのせ)	南会津町

完成目標時期
 前期 (～ R6)
 中期 (～ R9)
 後期 (～ R12)

※事業箇所は、地域課題に対する主な対応箇所です。

具体的な取組

取組1 ハード・ソフトが一体となった総合的な治水対策

「平成23年7月新潟・福島豪雨」は、会津地方の西部を中心に河岸の欠壊や橋梁の流失、河道の変動、家屋の床上浸水等の大きな被害をもたらしました。

災害箇所の原形復旧のみでは、再度災害を受けることが想定されたため、只見川においては、未災箇所も含めた一連区間において、堤防嵩上げや築堤、護岸や排水樋管等の整備を進めます。また、町村の避難対策を支援するソフト対策に取り組めます。

【主な事業箇所】

- 阿賀野川水系 河川改修 只見川（只見町）



河道掘削の状況 只見川（只見町）

取組2 防災・減災、国土強靱化対策

宮ノ沢は、土石流により被災した箇所であり、次期降雨により土石流が発生する恐れがあることから、下流の人家及び道路等への土砂災害を防止するため、砂防堰堤を整備します。

【主な事業箇所】

- 阿賀野川水系 土砂流出防止 宮ノ沢（南会津町）など



土砂流出の状況

取組3 災害に強い道路ネットワークの形成

安全な交通を確保し、災害に強い道路網の形成を図るため、落石危険箇所の落石防止対策、狭隘屈曲箇所の解消を計画的に実施します。

【主な事業箇所】

- 国道118号 災害防除 小野岳工区（下郷町）など



道路上部の不安定な地山の状況

取組4 長寿命化計画による適切な維持管理

県管理の橋梁について、定期的に点検を行い、損傷の状況に応じ優先順位を決定し、順次補修工事を実施することにより、橋梁の長寿命化を図ります。

【主な事業箇所】

- 国道121号 橋梁補修 山王大橋（南会津町）など



腐食状況



山王大橋

取組5 持続可能な除雪体制

南会津地域は、旧田島町が「豪雪地帯」、それ以外の地域が「特別豪雪地帯」に指定されている全国屈指の豪雪地帯です。冬期間における生活の安全確保や円滑な冬期交通の確保を図るため、国道・県道合計24路線において、除雪や凍結防止剤散布等を適切に実施します。



下郷会津本郷線の除雪の状況

取組6 建設業振興の支援

道路や河川等の維持管理、災害対応などを担う建設業は、地域に不可欠な存在です。一方、南会津管内の主産業の建設業の担い手不足や高齢化が進行しています。

このため、ICT活用工事導入による生産性向上、

週休2日確保工事等活用による働き方改革、建設業の魅力伝えるための情報発信（広報誌、SNS等）、担い手確保のための小中学生への出前講座などに積極的に取り組めます。

具体的な取組

取組7 広域連携を支援する道路整備

会津縦貫南道路は、磐越自動車道と一体となり、会津地域と南会津地域を結び、広域ネットワークを形成し、防災や医療活動等に貢献する地域高規格道路です。平成24年度から国道121号湯野上バイパスを国の直轄権限代行により整備しています。

県事業により4工区・国道118号小沼崎バイパス、5工区・下郷田島バイパスを整備しており、県土の連携軸の1つである会津軸の整備に取り組んでいます。

また、栃木西部・会津南道路を介した広域連携強化に向け、栃木県と調整を進めます。

【主な事業箇所】

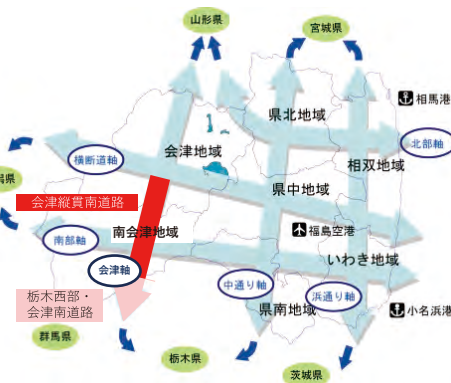
- 会津縦貫南道路（下郷町～南会津町）



下郷大橋完成予想図



田代トンネル本体工事完了
(令和2年12月)



福島県の7つの地域と6本の連携軸



下郷田島バイパス整備状況（南会津町）

取組8 隣県との広域連携を図る道路整備

交通不能区間を解消し、福島県と新潟県の広域的な交流促進や医療の連携強化を図るとともに、災害時における輸送路確保や孤立集落防止など、防災力を向上させるため、福島県の連携軸の1つである南部軸とし

て、国道289号八十里越を整備します。

【主な事業箇所】

- 国道289号 八十里越 入叶津道路（只見町）など



スノーシェルター整備状況 国道289号ナコ沢（只見町）



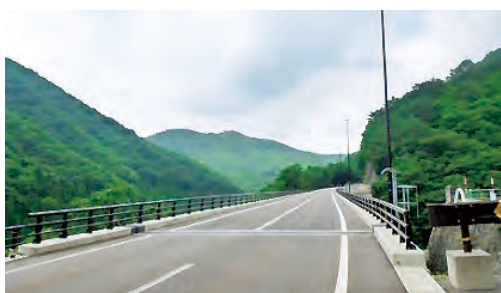
スノーシェッド整備状況 国道289号チバ沢（只見町）

取組9 南会津町内の連携や産業活動を支援する道路整備

南会津町の東部と西部の連携を強化し、関東圏から尾瀬国立公園等へのアクセスを向上させることにより、交流人口の拡大を図ります。また、雪崩危険箇所及び線形不良箇所を解消するため、橋梁を新たに整備します。

【主な事業箇所】

- 国道352号 中山峠、国道352号 たのせ（南会津町）など



国道352号金亀橋（南会津町）



(仮称) 竜神橋

具体的な取組

取組Ⅹ 地域資源をいかした地域づくりへの支援

戸赤集落は、「戸赤のやまざくら」でも知られる観光地であり、春の桜の時期には多くの観光客が訪れています。

沿線には、「桑取火のカタクリ群生地」、「日影不動滝」、「紅梅御前宮」などの地域資源もありますが、あまり知られていない状況です。

集落内を流れる戸石川は、地域の景観を損なうことなく、子供達が川遊びできる河川環境を維持する必要がありますことから、戸赤村づくり実行委員会等との懇談会で意見交換しながら、景観に配慮した護岸工、子ど

もたちが川遊びしやすくなる階段護岸などの親水施設を整備します。

また、沿線の県道戸赤栄富線は、3市町（会津若松市・下郷町・南会津町）が連携し選定したインバウンド向けサイクリングルートに含まれています。ルート案内標識やQRコードによるコース確認システム、さらには史跡案内が多言語で見られる標識を整備し、サイクリングによる地域づくりを支援します。

【主な事業箇所】

- 戸石川（下郷町）など



戸赤のやまざくら（下郷町）



日影不動滝（下郷町）



親水護岸 戸石川（下郷町）



階段工・飛び石工のイメージ

取組Ⅺ 空き家や古民家の再生への支援

● 空き家の利活用推進

近年、過疎化や高齢化又は経済的事情等により、空き家が放置され、適正な管理がされずに倒壊や防犯上の問題など地域住民への生活環境の悪影響が問題となっています。加えて市街地では空き店舗等が目立ち、かつてのにぎわいがなくなっている状況にあります。

このような状況を踏まえ、空き家を利活用し、移住・定住を促進し地域の活性化を図るため、移住者等が空

き家を探す上で手掛かりとなる各市町村が運用する「空き家バンク」情報を南会津地域として一元化し、ホームページにより積極的に広報します。

併せて、民間住宅の空き家については、移住者等が補助事業を活用した住宅改修、さらには、市街地の空き店舗等については、交付金事業を活用した空き家の解消を支援し、地域の賑わいを再生するための支援を進めます。

2017/3/27公開 登録 No.02

1人暮らしや夫婦にちょうど良い大きさ！家庭菜園可能な庭付き

売の家の別	売の物件
所在地	只見町/只見町内
建設年次	昭和11年(平成17年改修)
構造・延床	木造2階建て・延床135.53㎡
価格	190万円
詳細の要否	詳細不要

問い合わせ先
只見町 地域創生課企画係
TEL.0241-82-5220

2017/3/27公開 登録 No.03

部屋数多め 家族で住むのにぴったりの物件！

売の家の別	売の物件、貸し建物
所在地	只見町/只見町内
建設年次	昭和15年
構造・延床	木造2階建て・延床105.96㎡
価格	300万円(土壌改良費別)
詳細の要否	詳細必要

問い合わせ先
只見町 地域創生課企画係
TEL.0241-82-5220

2020/6/24公開 登録 No.29-005

自然に囲まれて生活したい方におすすめ！

売の家の別	売の物件、貸し建物
所在地	下郷町/下郷町内
建設年次	昭和34年
構造・延床	木造2階建て・延床158㎡
価格	300万円(土壌改良費別)
詳細の要否	多少の詳細必要

問い合わせ先
下郷町 総合政策課企画政策係
TEL.0241-09-1144

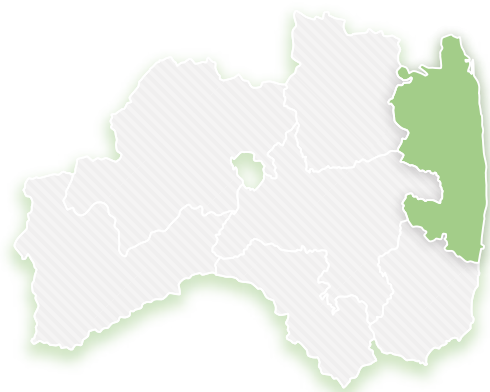
2020/7/30公開 登録 No.20-006

自然あふれる日本家屋 囲炉裏のある物件！

売の家の別	売の物件、貸し建物
所在地	下郷町/下郷町内
建設年次	昭和9年(昭和37年改修)
構造・延床	木造1階建て・延床約30㎡
価格	130万円(土壌改良費別)
詳細の要否	多少の詳細必要

問い合わせ先
下郷町 総合政策課企画政策係
TEL.0241-09-1144

空き家バンクの情報



相双

第3編

相双地域

相双 地域

復旧・復興のステージに合わせた、安全・安心な社会資本の整備と地域づくりを進め、復興と地方創生を目指す相双地域

地域の特性

- 相双地域は、福島県の東部に位置し、海、山、川の豊かな自然を要した温暖な気候の地域であり、地形は東西約30km、南北約80kmと細長い形状となっているため、全体的に分散型の地域構造となっています。
- 東日本大震災により、沿岸部を始めとして、家屋や公共施設等が広い範囲で甚大な被害を受けました。地域の北部と南部では復旧・復興が進捗しており、

避難指示が解除された区域では住民の帰還も進んでいます。しかし、帰還困難区域が残されている地域では住民の避難が続いているなど、復旧・復興のステージに差が生じています。

- 現在、特定復興再生拠点区域等の整備や福島イノベーション・コースト構想の推進に向けた取組が進められています。

現状と課題

- 福島イノベーション・コースト構想や特定復興再生拠点等の具現化とともに、地域活性化に向けたインフラの整備や地域連携のための道路ネットワークの構築が求められています。
- 新たな企業進出や貨物量の増加により、物流拠点となる相馬港の機能強化や物流ルートの強化が求められています。
- 移住や帰還促進のため、住民が生活する上で魅力を感じることができる生活空間の確保が求められています。

ます。

- 産業の再生・発展に向けた物流拠点の強化や県・市町村の重点施策を支援するインフラ整備が求められています。
- 安全・安心な生活空間を確保するためのインフラ整備や維持管理が求められています。
- 各地域において復旧・復興の進捗状況に応じた対応が求められています。

基本方針と取組

基本方針Ⅰ 東日本大震災からの復興・創生を進めます。

取組1 帰還と移住・定住促進を図るため、インターチェンジ等の交通結節点へのアクセス向上を図る道路整備や特定復興再生拠点区域等への支援に取り組みます。

取組2 避難解除区域等にあるインフラの機能回復に努めます。

取組3 福島イノベーション・コースト構想、管内市町村の復興拠点や物流を支えるインフラ整備や維持管理を推進します。

基本方針Ⅱ 近年頻発している自然災害を踏まえ防災・減災対策等を進めます。

取組4 安全・安心に暮らせる地域を創出するため、インフラの防災・減災対策や長寿命化対策を推進します。

取組5 地域住民が自ら行動できる水災害等に対する防災意識向上に取り組みます。

取組6 過疎・中山間地域の安定した暮らしや地域間交流を支えるインフラの整備や維持管理を推進します。

基本方針Ⅲ 地域内の活力の創出や、持続していく地域づくりを進めます。

取組7 港の機能強化や定期コンテナ航路の再開に向けた取組による国際的な物流ネットワークの拡大を図ります。

取組8 住環境整備を推進するため、空き家改修や生活空間の確保などへの支援に取り組みます。

取組9 次世代のインフラ整備や維持管理を担う人材育成等に取り組みます。



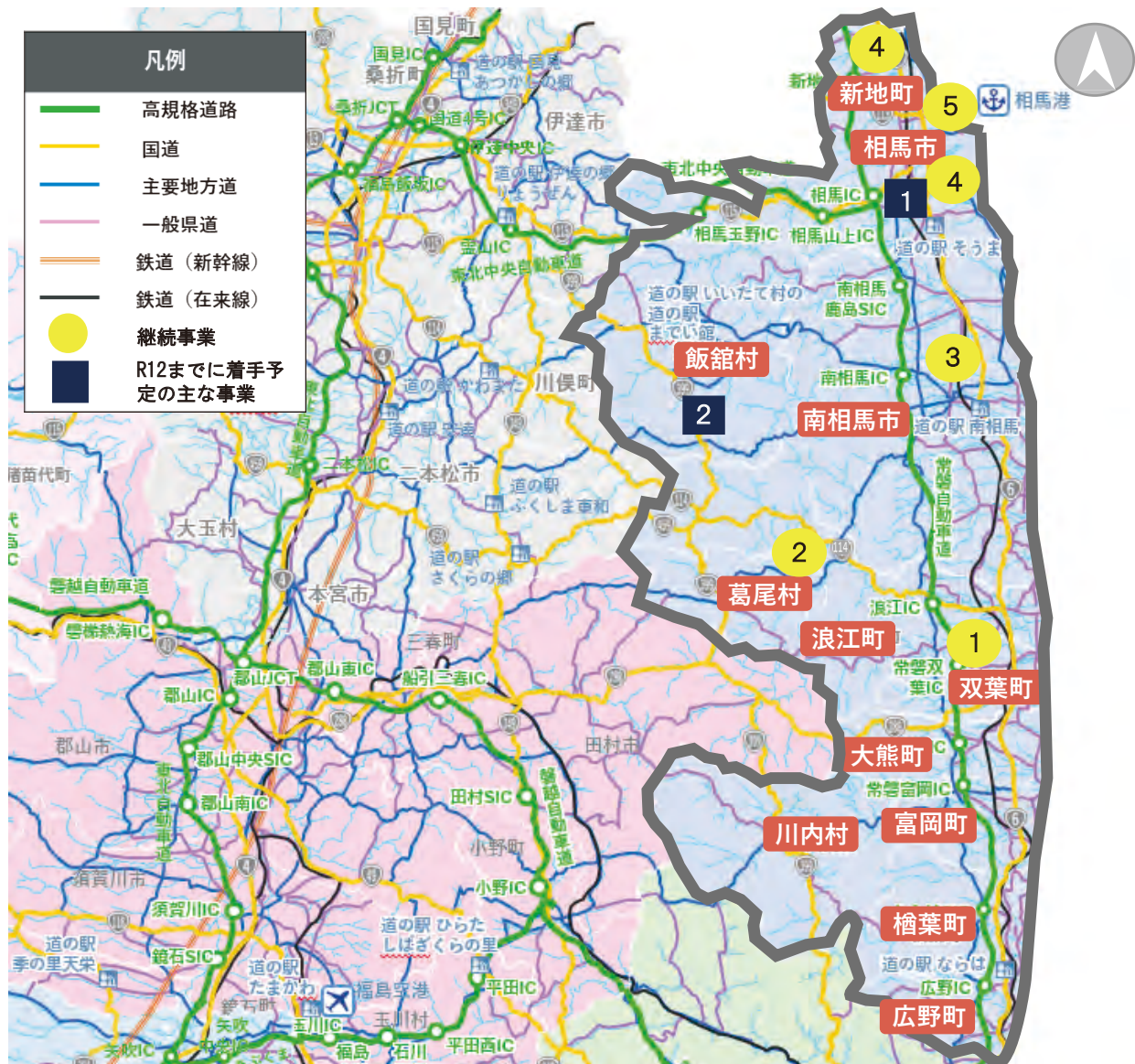
小野富岡線 道路整備 (川内村)



水無川 河道掘削 (南相馬市)



相馬港 防波堤整備 (相馬市、新地町)



【主な継続事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地	着手年度	完成目標時期		
							前期	中期	後期
1	1	1	1	道路整備 井手長塚線(長塚)	双葉町	H28 (2016)		●	
2	1	1	2	道路整備 浪江三春線(小出谷)	葛尾村	R2 (2020)		●	
3	1	1	3	道路整備 原町川俣線(下高平)	南相馬市	R1 (2019)		●	
4	2	1	4	河川整備 宇多川、三滝川外	相馬市 新地町外	R1 (2019)	●		
5	6	3	7	相馬港	相馬市 新地町	R2 (2020)			●

【令和12年度までに着手予定の主な事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地
1	1	1	2	道路整備 国道115号(大曲)	相馬市
2	1	1	2	道路整備 国道399号(滝下)	飯舘村

完成目標時期
前期(～R6)
中期(～R9)
後期(～R12)

※事業箇所は、地域課題に対する主な対応箇所です。

1 第1編 基本構想編

2 第2編 基本計画編

3 第3編 地域別計画編

4 第4編 計画の進行管理

5 第5編 資料編

具体的な取組

取組1 帰還と移住・定住促進を図るためのインフラ整備

避難解除区域等と周辺の主要都市等を結ぶふくしま復興再生道路などの整備を進めるとともに、(仮称)小高スマートインターチェンジへのアクセス向上を図る道路の整備など市町村の取組を支援します。

特定復興再生拠点区域や各市町村の中核となる地域などに賑わいをもたらすため、地域住民との意見交換

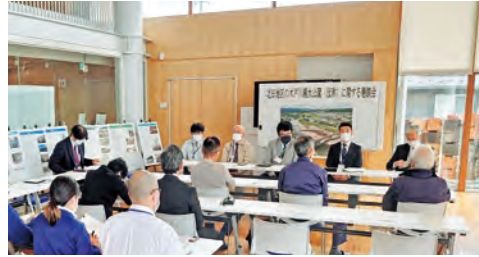
を行いながら、木戸川等の親水施設整備を進めます。

【主な事業箇所】

- 道路整備 国道114号 柗平工区(浪江町)、井手長塚線 長塚工区(双葉町) など
- 親水施設 木戸川(楡葉町) など



井手長塚線 道路整備(双葉町)



木戸川 懇談会(楡葉町)

取組2 避難解除区域等のインフラの機能回復

帰還者や移住者が安全・安心に暮らせるよう、避難解除区域等にあるインフラの機能回復を進めます。

【主な事業箇所】

- 河道掘削 飯樋川(飯館村) など
- 道路整備 浪江三春線 小出谷工区(葛尾村、浪江町) 国道399号 滝下工区外(浪江町、飯館村) など



浪江三春線 現道の状況(葛尾村)

取組3 福島イノベーション・コースト構想などを支えるインフラ整備

新たな産業基盤の構築を目指す「福島イノベーション・コースト構想」の進展を支えるインフラの整備などを進めます。

また、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂を始め、国内外に向けた復興に対する強い意志を発信することを目的とした福島県復興祈念公園の整備を進めます。

【主な事業箇所】

- 原町川俣線 下高平工区(南相馬市)、広野小高線 浪江・小高工区(南相馬市) など
- 福島県復興祈念公園(双葉町、浪江町)



広野小高線 道路整備(南相馬市)

取組4 防災・減災対策等による安全・安心な地域の創出

令和元年東日本台風等を始めとした激甚化・頻発化する近年の水災害に対し、河川の流下能力を向上させるため、河川改良復旧等を進めるとともに、気候変動の影響等を踏まえ、関係者が協働し、ハードとソフトが一体となった流域全体の地域特性に対応した対策を進めます。

また、災害時の輸送を確保するための道路ネットワークの強化や各種施設の長寿命化対策を計画的に実施するとともに、漁港施設の耐津波対策を進めます。

【主な事業箇所】

- 河川改修 宇多川、小泉川(相馬市)、富岡川(富岡町)、立田川(新地町) など
- 道路ネットワーク強化 国道115号(相馬市) など
- 長寿命化対策 原町川俣線(南相馬市)、小野富岡線(川内村) など
- 漁港耐津波対策 請戸漁港(浪江町) など



宇多川 河川改修(相馬市)

具体的な取組

取組5 地域住民の防災意識向上

主に小中学校の児童生徒を対象とした出前講座を実施し、豪雨時の避難方法や土砂災害の発生状況等を伝えることで、自分の命を守るための防災意識向上を促す取組を進めます。

あわせて、住民の自発的な避難判断を促す危機管理型水位計や河川監視カメラの設置、ハザードマップの利活用推進等の取組を進めます。



小学校での出前講座

取組6 過疎・中山間地域を支えるインフラの整備と維持管理

相双地域の美しい自然を守り、ふるさとを支えるため、地域間交流や生活環境の確保に向けたインフラの整備や維持管理を進めます。

【主な事業箇所】

- 道路整備 上戸渡広野線 上浅見川工区（広野町）など
- 舗装補修 いわき浪江線（大熊町）など



いわき浪江線 舗装補修（大熊町）

取組7 国際的な物流ネットワークの拡大

相馬港南防波堤延伸により相馬港の安全性向上を図るなど、港の機能強化や、クルーズ船の寄港誘致、定期コンテナ航路の再開に向けた取組による国際的な物流ネットワークの拡大を図ります。

また、相馬港とインターチェンジ等を結ぶ道路の整備を進め、県外を含めた広域的な物流ネットワークの構築を進めます。

【主な事業箇所】

- 相馬港（相馬市、新地町）
- 国道115号 大曲工区（相馬市）など



相馬港 防波堤整備
（相馬市、新地町）

取組8 住環境整備の促進

帰還者や移住者を始めとする地域住民の快適で安全・安心な居住環境を確保するため、市町村と連携した空き家改修などへの支援や県営住宅等の長寿命化を進めます。

また、避難解除区域等で担い手が不足する地域の維

持活動等の支援に努めます。

渋滞解消やユニバーサルデザインの考えを取り入れた歩道整備など、地域における利便性向上や利用者の安全を確保するためのインフラの整備を進めるとともに、東ヶ丘公園など、都市公園の利活用を推進します。

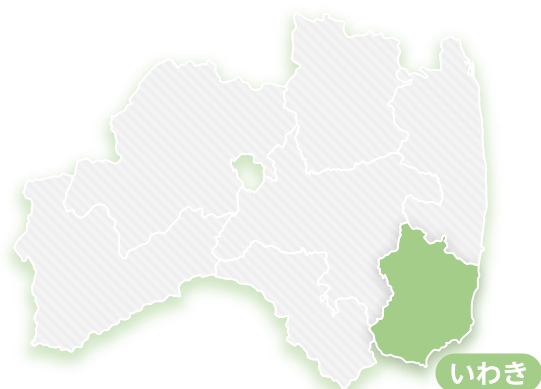
取組9 管内建設業の振興と次世代の人材育成

復旧・復興事業をより効率的に実施していくため、デジタル技術活用に向けた支援や人材の育成など、ICT活用工事の拡大を図る取組を進めます。また、安全・安心な地域を持続していくための担い手確保、技術者育成を図る取組を進めます。

災害時の対応や除雪業務など、地域の守り手として重要な役割を担う管内建設業のイメージアップを図るため、SNS等を活用し、インフラの整備や維持管理等の魅力について情報発信していきます。



ドローンによる調査



第3編

いわき地域

地域の特性

- いわき地域は、県土の南東部に位置し、阿武隈高地を西に擁し、夏井川、鮫川などの河川、東側は太平洋に面し、温暖な気候であり、相双地域や北関東との結びつきが強い地域です。
- 東日本大震災では甚大な被災地となりましたが、復興事業が進みインフラなどのハード整備は完成を迎えています。
- 浜通り地方最大の都市として多彩な観光資源や自立した経済圏、生活圏を形成しています。
- 仙台市に次ぐ東北第2位の人口を有し、東京電力福島第一原子力発電所事故による避難者の流入により、人口が増加している状況となっています。
- 都市部や沿岸部の都市計画区域に人口が集中している一方、中山間地域は過疎化が進行しています。居住する就業者や学生は市内の勤務先や学校等に通勤、通学しており、市内就業・通学率は高く、日常生活圏が市内で完結しているという広域都市の特徴が見られます。

現状と課題

- 令和元年東日本台風等からの早期復旧及び再度災害防止の対策が求められています。
- 災害に強い安全・安心な基盤づくりが求められています。
- 港を拠点とした広域物流ネットワークの強化や産業・観光を支援する道路を整備する必要があります。
- 小名浜港は、取扱貨物量の増加や船舶の大型化、次世代エネルギー等に対応するため、物流機能の強化が求められています。また、県内産業の振興に寄与するため、ポートセールス活動を積極的に推進する必要があります。
- 広域で特色ある多様な地域資源をいかした地域づくりのための基盤を整備する必要があります。

基本方針と取組

基本方針Ⅰ 令和元年東日本台風等被災地域の早期復旧と災害に強い安全・安心な基盤づくりや魅力ある生活圏を形成します。

- 取組1 道路、河川、海岸などの公共土木施設の早期の機能回復を図ります。
- 取組2 夏井川、好間川の浸水被害を解消する改良復旧に取り組みます。
- 取組3 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた街なかの道路整備や無電柱化を進めます。
- 取組4 災害時に機能を維持するための国土強靱化や防災情報の迅速な提供を行い、あらゆる関係者が協働した流域治水などの取組を進めます。
- 取組5 河川改修、砂防事業等の地域防災を支える事業を計画的に進めます。
- 取組6 既存施設の機能強化を行い長寿命化を図り、計画的に維持管理を進めます。



矢田川 河道掘削状況

基本方針Ⅱ 活力ある産業振興の支援と多様な交流を促進します。

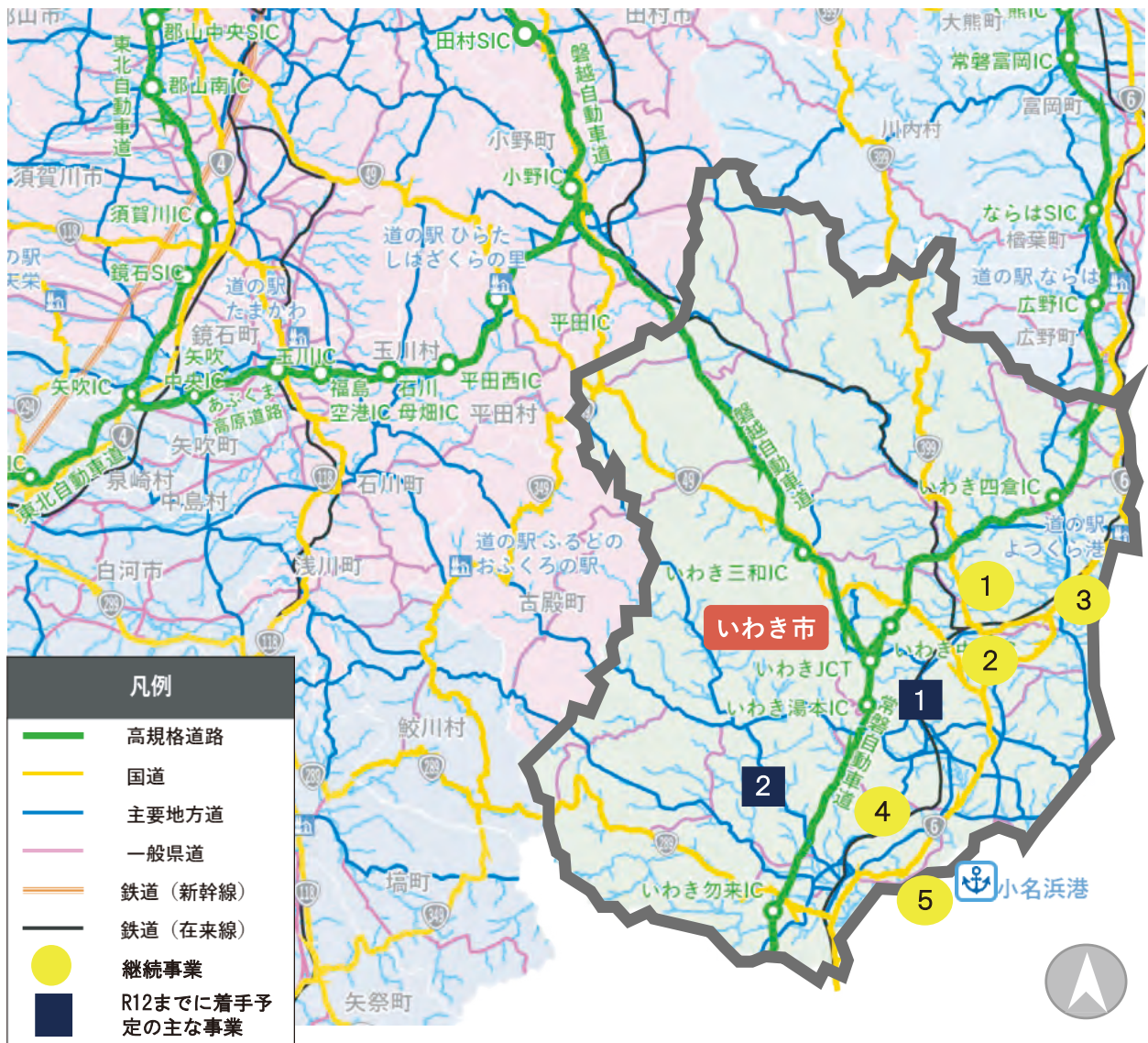
- 取組7 広域的な物流ネットワークとして、小名浜港と常磐自動車道を直結する道路を整備します。
- 取組8 地域間の交流を促進する幹線道路や地域に密着した生活道路を整備します。
- 取組9 小名浜港の物流機能強化と災害に強いみなとづくりを進めます。
- 取組10 大型クルーズ船の誘致活動及び受入体制の強化を図ります。
- 取組11 港湾の利用促進を図るため、ポートセールス活動を進めます。



小名浜港東港地区整備状況

基本方針Ⅲ 地域を牽引するまちづくりや建設業の基盤強化を支援します。

- 取組12 地域を牽引するまちづくりの取組を支援します。
- 取組13 自転車の活用による健康づくりを支援します。
- 取組14 社会に貢献する建設業を活力ある産業とするとともに、新型コロナウイルス対策にも対応するようDX（デジタルトランスフォーメーション）による環境改善を行い、建設業の基盤強化や担い手育成等を進めます。



【主な継続事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地	着手年度	完成目標時期		
							前期	中期	後期
1	2	1	2	河川整備 夏井川、好間川	いわき市 平下平窪 外	R1 (2019)	●		
2	3	1	3	無電柱化 小名浜平線 (作町工区)	いわき市 平	H19 (2007)	●		
3	2	1	5	水門整備 夏井川	いわき市 平下神谷	H30 (2018)	●		
4	1	1	7	道路整備 小名浜道路	いわき市 泉町下川 外	H25 (2013)	●		
5	6	3	9	港湾整備 小名浜港 (大剣埠頭、マリナー)	いわき市 泉町下川	R3 (2021)	●		

【令和12年度までに着手予定の主な事業箇所】

番号	目標	施策分類	地域別取組	事業名	所在地
1	4	2	3	街路事業 白鳥藤原線 (湯本)	いわき市 常磐湯本町
2	1	1	7	道路整備 いわき上三坂小野線 (和久2)	いわき市 山田町

完成目標時期
 前期 (～ R6)
 中期 (～ R9)
 後期 (～ R12)

※事業箇所は、地域課題に対する主な対応箇所です。

具体的な取組

取組1 公共土木施設の早期復旧

●道路・橋梁

豪雨により被災した幹線道路や生活道路の機能回復を図り、安全な通行を確保します。

●河川・海岸

被災した堤防の復旧や豪雨による越水などに壊れにくい堤防の築造により、背後地の安全性向上を図ります。



いわき石川線(才鉢)被災状況

取組2 浸水被害を解消する改良復旧

令和元年東日本台風等により決壊などの甚大な被害を受けた夏井川及び好間川において、安全に流下させるための河川改良を進め、再度災害の防止を図ります。

【主な事業箇所】

●夏井川、好間川 など



夏井川(大念仏)決壊状況

取組3 街なかの道路整備や無電柱化の推進

緊急輸送路などの道路においては、大規模地震が発生した場合においても、緊急物資を円滑に運ぶことができるよう無電柱化を進めます。駅前など多くの歩行者が利用する道路は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた歩行空間の整備を進めます。

【主な事業箇所】

●小名浜平線(作町工区)、国道399号(田町工区) など



小名浜平線(作町工区)

取組4 国土強靱化や防災情報の迅速な提供

●国土強靱化等事業

あらゆる関係者で取り組む流域治水を進め、雨水を安全に流下させるための河道掘削、道路冠水を防ぐポンプ設備の強化を図ります。また、情報を迅速に提供する危機管理型水位計や河川監視カメラの設置とともに、地域と連携した防災出前講座を行い、被害の軽減を図ります。

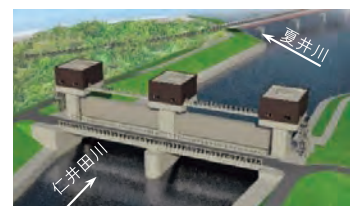


出前講座

取組5 河川改修、砂防事業等

●夏井川

夏井川は、長年にわたり河口閉塞を繰り返しており、河口部周辺や仁井田川沿川に洪水をもたらしていることから、閉塞を解消するため、計画的に水門整備などの改修事業を進めます。



夏井川水門整備イメージ

取組6 計画的な維持管理

●長寿命化対策事業等

施設の機能を確保する計画的な維持管理を実施するとともに、道路舗装や橋梁、公園、砂防、県営住宅などの長寿命化対策を計画的に進めます。また、地域住民と共に道路や河川などの維持管理にも取り組みます。さらに地域交流の場や広域避難場所(いわき市)として、いわき公園や防災緑地の利用促進を図ります。



県道小名浜平線 八ツ坂歩道橋
(橋梁補修)

取組7 広域的な物流ネットワーク

重要港湾小名浜港と常磐自動車道を直結する自動車専用道路を整備し、広域物流ネットワークの強化を図るとともに、小名浜港と周辺地域の産業・観光振興を支援します。

【主な事業箇所】 ●小名浜道路



小名浜道路(添野地区)

具体的な取組

取組8 幹線道路や生活道路の整備

ネットワーク型コンパクトシティを促進するため、集約された拠点を結ぶ幹線道路や、暮らしに必要な公共交通を支える道路を整備し、市内の各地域間の交流を支援します。

いわき地域を広域的に結ぶ幹線道路の代替となる道路の幅員狭小区間を解消し、安全で円滑な交通を確保します。

【主な事業箇所】

- 旅人勿来線（宝坂1工区） など



旅人勿来線（宝坂1工区）

取組9 港の物流強化と災害に強いみなとづくり

- 港湾・漁港

小名浜港の取扱貨物量の増加や船舶の大型化、次世代エネルギー等に対応するため、東港地区を始めとする物流ターミナル等の機能強化を図ります。

また、各港の静穏度向上や機能強化の取組等により災害に強いみなとづくりを進めます。



小名浜港東港地区 荷役開始

取組10 大型クルーズ船の誘致活動及び受入体制の強化

大型クルーズ船の小名浜港への誘致活動を積極的に進めるとともに、にぎわい空間の創出のために必要となるクルーズ船受入体制の強化を図ります。



飛鳥II 寄港

取組11 ポートセールス活動による港湾の利用促進

小名浜港の海上輸送の促進を図り、県内産業の振興に寄与するため、地元関係団体と共に積極的なポートセールス活動を進めます。



海外ポートセールス活動

取組12 地域を牽引するまちづくりの取組への支援

- まちづくり活動の支援

まちづくり団体等と連携して、地域におけるにぎわい創出、交流人口の拡大、健康推進、若者の定着等の地域活性化に寄与する施設の整備を進めます。

また、地域の課題である移住定住の促進や空き家対策を関係機関と連携して支援します。



汐風竹町通り（汐風竹町フェスタ）

取組13 自転車の活用による健康づくりの支援

- いわき七浜海道支援事業

沿岸部に整備されたいわき七浜海道を活用し、サイクルツーリズムを通じた地域の魅力を積極的に発信し、交流人口の拡大を図るとともに健康づくりを支援します。



いわき七浜海道

取組14 新施策や担い手育成等の取組支援

- 情報通信技術活用等支援事業

建設業を活力ある産業とするため、生産性向上や働き方改革を推進して、情報通信技術の活用や週休二日工事、遠隔臨場等を実施するとともに、普及啓発を図るため建設関係団体との合同勉強会を実施します。



情報通信技術の活用